RAM　R　カード

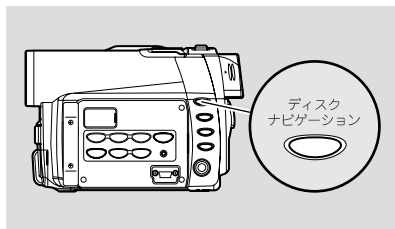
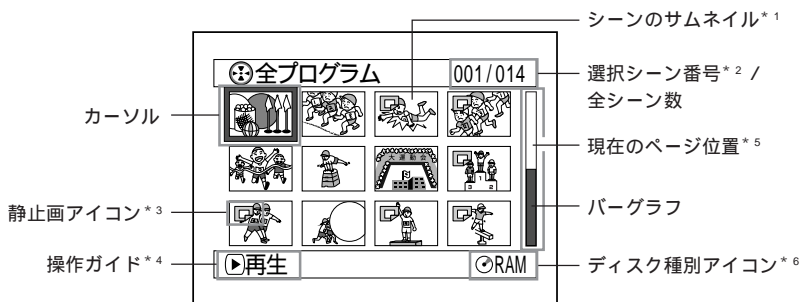
ディスクナビゲーション機能を使う

ディスクナビゲーションは、本機で撮影したシーンを再生・編集するための機能です。ここでは、ディスクナビゲーション機能を活用するために、シーンやプログラムについて説明します。
なお、説明内の画面は、基本的にDVD-RAMディスクを使用したときの画面を使っています。DVD-Rディスクやカードをお使いのときは表示されない項目もありますが、操作には変わりありません。

始める前に

- カメラの電源を入れてください（☞ P.42）。
  ディスクをお使いの場合 ....「動画」または「静止画」
  カードをお使いの場合 ....「カード 静止画」

ディスクナビゲーションを起動する

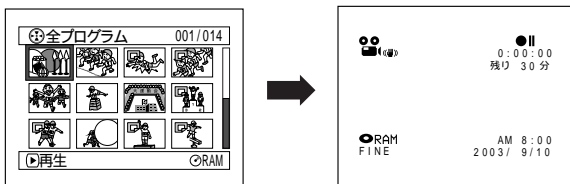
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す
ディスクナビゲーションボタンを押すと、下記のような画面（ディスクナビゲーション画面）が表示されます。

下記の画面はDVD-RAMディスクをお使いのときの画面です。
DVD-Rディスクやカードをお使いのときには表示されないものもあります。

＊1：サムネイルとは、撮影した映像の内容を区別するために、ディスクナビゲーションで表示される縮小画面のことです。
＊2：シーン番号は、表示画面の中での表示番号です。
＊3：カードのときには、静止画アイコンは表示されません。
＊4：操作ガイドは、そのときの操作状況により変わります。
＊5：13シーン以上あるときに表示されます。
＊6：カードのときには、が表示されます。

- 背景色でディスクとカードのどちらを使用しているかが分かります。
  紫…ディスクをお使いのとき
  緑…カードをお使いのとき
- 画面表示ボタンを押すと、カーソルのあるシーンの撮影日時が操作ガイドの位置に表示されます。もう一度押すと、操作ガイドが表示されます。

- ディスクやカードが入っていないと、「ディスクナビゲーション」ボタンを押してもディスクナビゲーションの画面は表示されません。
- DVD-R ディスクをご使用の場合は、ディスクナビゲーションを起動するたびに「サムネイル生成中です。」とメッセージが表示されてから、ディスクナビゲーション画面が表示されます。
- 以下のようなディスクやカードを入れたときは、自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
  ー ディスクプロテクトされたディスク
  ー ロックされたカード
  ー ファイナライズ済の DVD-R ディスク
- ディスクナビゲーション画面を接続した TV 画面に表示させたままにしないでください。テレビ画面に焼き付きなどの損傷を与える場合があります。

ディスクナビゲーションを終了する

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

ディスクナビゲーションを終了して、記録一時停止状態になります。
□(停止／キャンセル）ボタンを押しても終了します。

●サムネイルとは

撮影した映像の内容を区別するための縮小画面のことです。
撮影直後のサムネイルは、撮影した映像の最初の場面に設定されています。本機では、サムネイル画像の変更ができます（P.101）。

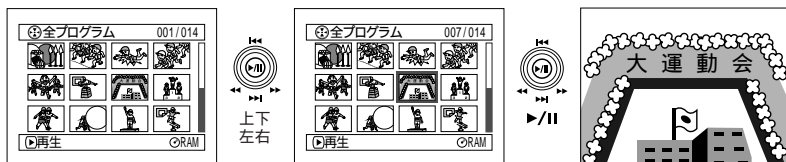
●シーンとは

動画の場合...........「録画」ボタンを押して記録を開始して、もう一度「録画」ボタンを押して記録を停止するまでの映像
静止画の場合.......「録画」ボタンを押して記録した 1 枚の画像

ディスクナビゲーション画面から再生する

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **見たいシーンにカーソルを合わせる**
ジョイスティックを上下左右に動かして合わせてください。

3 **▶/II を押す**
選んだシーンから再生が始まります。

ヒント

- ジョイスティックを左右に動かすと、カーソルが 1 画面ずつ移動します。
上下に動かすと、上下に移動したり、前後のページに移動します。

●再生が終わると・・・

最後のシーンの最後の場面で再生一時停止状態になります。□（停止／キャンセル）ボタンかディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。
再生一時停止状態が約 5 分続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

再生一時停止
●静止画の再生

静止画は約 3 秒間表示されます。カードの場合は 1 枚ごとに停止します。

ヒント

- 再生を一時停止させるときは、▶/II を押します。
もう一度 ▶/II を押すと、そこから再生が始まります。
- 最後のシーンの再生が終わったあと ▶/II を押すと、ディスクの先頭から再生します。
- □(停止／キャンセル) ボタンを押せば、いつでもディスクナビゲーション画面に戻れます。
- ディスクナビゲーションからの再生では、任意のシーンを選んで再生したり、あるシーンを飛ばして再生したりできます（☞ P.96、102）。
- カード再生では、画素数の大きな静止画を再生すると、“ 再生を開始します。”と表示され、静止画が表示されるまで時間がかかります。

複数のシーンを選ぶ

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したいシーンにカーソルを合わせる**

3 **「選択」ボタンを押す**

選択されたシーンには、赤色のワクが表示されます。
手順 2、3 を繰り返して、複数のシーンを選ぶことができます。

連続するシーンをまとめて選ぶ

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したいシーンにカーソルを合わせる**

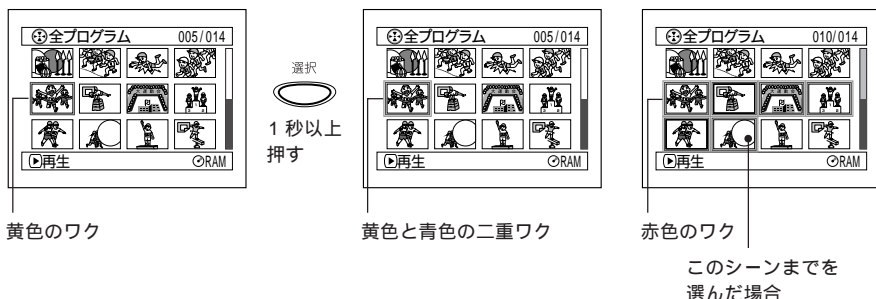
3 **「選択」ボタンを 1 秒以上押しつづける**

選んだシーンに黄色と青色の二重ワクが表示されます。

4 **選択したい範囲の最後のシーンを選び、決定する**

範囲指定したシーンに赤いワクが表示され、選択されます。

黄色のワク

1 秒以上
押す

黄色と青色の二重ワク

赤色のワク

このシーンまでを
選んだ場合

- シーンを選んだあとで ▶/II を押すと、選んだシーンだけ再生します。
- 選んだシーンを解除したいときは、解除したいシーンを選び「選択」ボタンを押してください。
  選んだシーンをすべて解除したいときは、□(停止／キャンセル)ボタンを押してください。
- カーソルの色とバーグラフの色で、シーンの状態が分かります。

カーソル	バーグラフ	シーンの状態
黄	青	現在位置
青	青	範囲選択中
赤	赤	選択済

- 選択しようとしている範囲の最後のシーンから、逆方向に範囲を選ぶこともできます。
- 手順 4 で決定する前に □(停止／キャンセル) ボタン、または「選択」ボタンを押すと、操作を中止します。

• ディスク、カードとも選択できるシーンは、最大 999 シーンです。

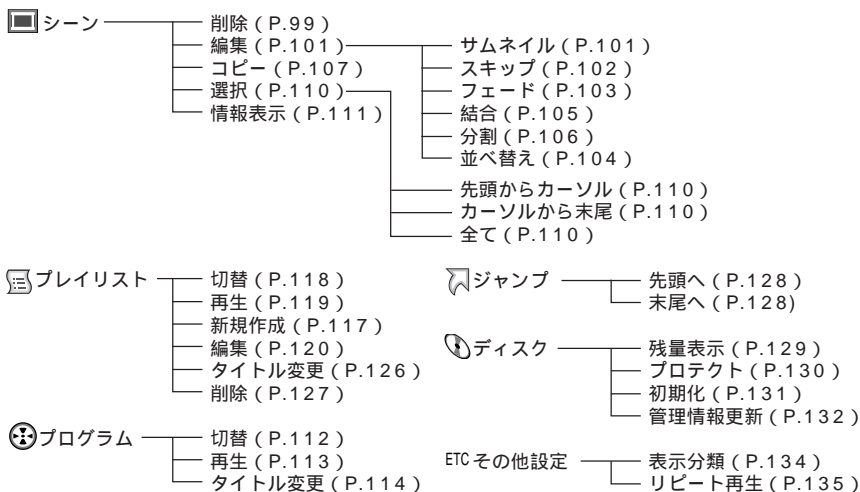
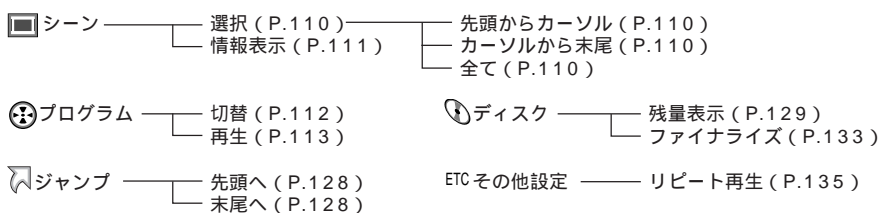
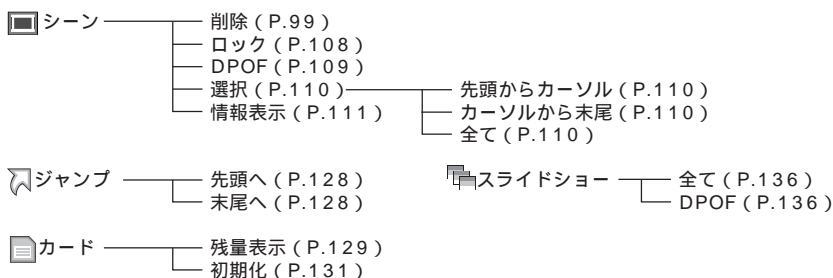
ディスクナビゲーションメニュー

ディスクナビゲーションメニューを使うと、さらに多彩な操作が可能です。

ディスクナビゲーションでできること

できること	使用ディスクまたはカード	内　容	参照ページ
シーンの削除	RAM カード	いらないシーンを削除することができます。	99
シーンの編集	RAM	シーンにフェードやスキップを設定したり、シーンとシーンの結合やひとつのシーンを分割することができます。	101
シーンの情報表示	RAM R カード	1つのシーン、または複数のシーンの画質や記録時間などの情報を表示します。	111
タイトル設定	RAM	プレイリストやプログラムにお好きなタイトルを設定できます。	114、126
プレイリストの作成	RAM	シーンの組合わせを替えて、オリジナルムービーが作成できます。	117
ディスクまたはカードの初期化	RAM カード	ディスクまたはカードを本機で使えるよう初期化できます。	131
ディスクからカードへのコピー	RAM カード	DVD-RAM ディスクに記録されている静止画をカードにコピーすることができます。	107
ディスクのファイナライズ	R	本機で撮影した DVD-R ディスクを DVD プレーヤーなどでご覧になるために、DVD-R ディスクをファイナライズします。	133
リピート再生	RAM R	プログラムやシーンの繰り返し再生ができます。	135
スライドショー	カード	静止画の連続再生ができます。	136
残量表示	RAM R カード	あとどのくらいの時間または枚数が撮影可能かを表示します。	129
ディスクプロテクト	RAM	誤ってシーンを削除したり初期化したりしないように、ディスクにプロテクトをかけることができます。	130
シーンのロック	カード	誤ってシーンを削除したりしないように、各シーンをロックすることができます。	108
DPOF 設定	カード	各シーンに印刷枚数を設定できます。	109

ディスクナビゲーションメニューの流れを確認する

ディスクナビゲーション画面からメニューボタンを押すと、ディスクナビゲーションに関するメニューや、ディスク、カードに関するメニューが表示されます。
画面の見かたについては、P.75 ～ 77 をご覧ください。
また、設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

シーン

RAM カード

削除（シーンを削除する）

いらないシーンを削除してみましょう。

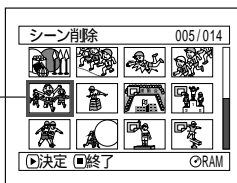
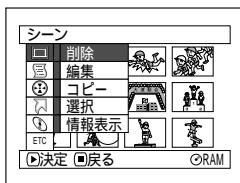
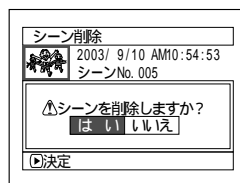
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

3 「シーン」→「削除」を選び、決定する

4 「シーン削除」画面が表示されるので、削除したいシーンに変更がなければこのまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
決定後は、「シーン削除」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンの削除もできます。

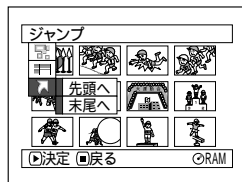
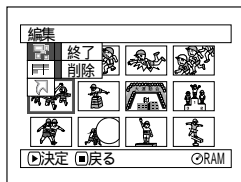
6 □（停止 / キャンセル）ボタンを押して終了する

削除したいシーン　（シーン選択画面）

ヒント

- 全プログラム画面で削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押すと、手順 4 の画面が表示されます。

シーン

- シーンの削除をしても削除部分の時間や枚数が少ない場合は、残量表示が増加しない場合があります。
- カードをご使用の場合、ロックされているシーンは削除されません(☞ P.108)。
- ディスクやカードの中のすべてのデータを消去してもよい場合は、初期化をしてください（☞ P.131)。
- プレイリストが1つでも作成してあると、シーンを削除する前に「プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？」と表示されます。削除したいシーンがプレイリストで使われていなくても表示されますので、そのときは▶/II を押してください（☞ P.116「プレイリスト」)。

●サブメニューを使った編集

手順4のとき、▶/II を押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

- 「編集」
  - 「終了」............................ ディスクナビゲーション画面に戻ります
  - 「削除」............................ 選択したシーンを削除します
- 「選択」
  - 「先頭からカーソル」..... 先頭から現在カーソルのあるシーンまで選択します
  - 「カーソルから末尾」..... 現在カーソルのあるシーンから末尾まで選択します
  - 「全て」............................ 全てのシーンを選択します
- 「ジャンプ」
  - 「先頭へ」........................ カーソルを先頭のシーンに移動します
  - 「末尾へ」........................ カーソルを末尾のシーンに移動します

□(停止／キャンセル）ボタンを押すと、手順4に戻ります。

- サブメニューは各設定で表示されますが、設定によっては表示されない項目もあります。

RAM

編集～サムネイル（サムネイル画像を変更する）

サムネイルとは、撮影した映像の内容を区別するために、ディスクナビゲーションで表示される縮小画面のことです。
シーンの画像は、通常撮影したときの最初の場面になっていますが、この画像を変えることができます。
インパクトのある場面をサムネイルの画像に設定すると、ディスクナビゲーション画面だけで何を撮影したシーンかが一目で分かり、とても便利です。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **変更したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**

3 **「シーン」→「編集」→「サムネイル」を選び、決定する**

4 **「サムネイル変更」画面が表示されるので、変更したいシーンに変更がなければそのまま決定する**
選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **変更したい場面になったら「選択」ボタンを押す**

6 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
変更しない場合は「いいえ」を選んでください。
変更後は、「サムネイル変更」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 6 を繰り返して、他のシーンも変更できます。

7 **□（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

ヒント

- 手順 4 のとき「選択」ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（P.100「サブメニューを使った編集」）。

ご注意
- 静止画のサムネイル画像の変更はできません。
- スキップが設定されているシーンは再生できないため、サムネイル変更を行なえません。スキップを解除してから分割してください。

シーン

RAM

編集～スキップ（シーンを飛ばして再生する）

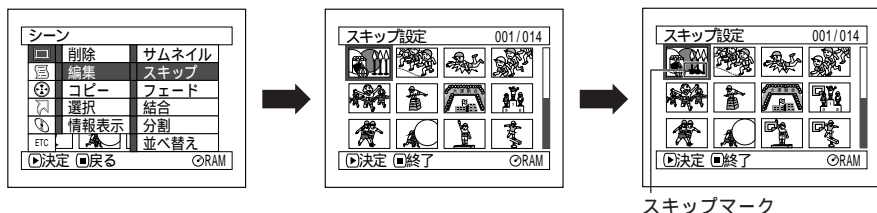
再生したくないシーンにスキップを設定しておくと、そのシーンは再生されません。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

3 **「シーン」→「編集」→「スキップ」を選び、決定する**

4 **「スキップ設定」画面が表示されるので、スキップしたいシーンに変更がなければこのまま決定する**
変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「スキップ設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 を繰り返して、他のシーンにもスキップ設定ができます。

5 **□（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**
スキップが設定されているシーンには、スキップマーク「」が表示されています。

スキップマーク

●スキップ設定を解除するには

スキップが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
スキップマークが消え、スキップが解除されます。

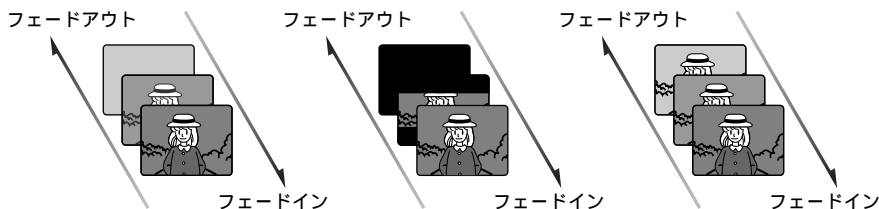
ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。

シーン

RAM

編集～フェード

シーンの最初と最後にフェードを設定できます。
フェード設定は次の 3 種類です。

ホワイト：

- 白い画面からフェードイン
- 白い画面へフェードアウト

ワイプ：

- 黒い画面から画面上下方向へフェードイン
- 画面上下方向から黒い画面へフェードアウト

モノトーン：

- 白黒の画面からカラー画面へフェードイン
- カラー画面から白黒画面へフェードアウト

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「編集」→「フェード」を選び、決定する

4 「フェード設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する

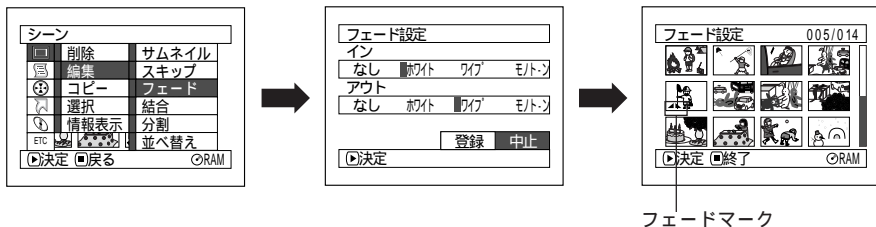
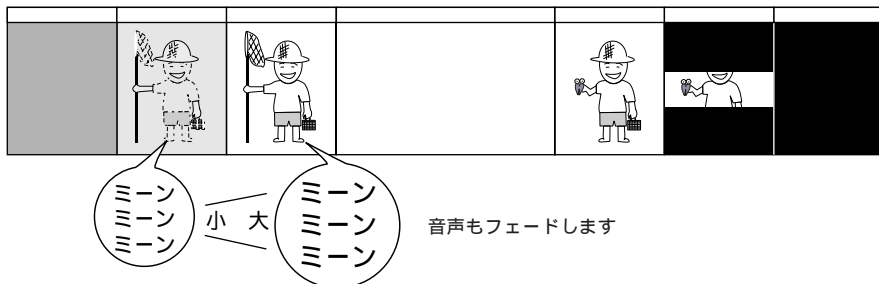
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 「イン」と「アウト」の効果をそれぞれ選び、「登録」を選んで決定する

設定しない場合は「中止」を選んでください。
設定後は、「フェード設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンにもフェード設定ができます。

6 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

フェードが設定されているシーンには、それぞれマーク「◢」「◣」が表示されています。

シーン

再生すると…

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。
- フェードを設定すると、音声も連動します。
- フェード設定は、「イン」と「アウト」のどちらか片方だけの設定も可能です。
- フェード設定は同じ手順で何度でも変更できます。
- 再生時に表示される画面表示にも、フェード設定が働きます。
  フェード設定は、複数のシーンで設定が可能です。

ご注意
- シーンの再生時間が短いと、フェードが途中で切れることがあります。
- 静止画と、記録時間が約 3 秒以下の動画にフェードインとフェードアウトの設定をした場合、フェードインのみ有効になります。
- 記録一時停止した状態から再生した場合は、フェード設定が働きません。
- スキップして頭出しした場合、シーンの先頭画像が一瞬出てから、フェードが働きます。
- コマ送り／コマ戻し再生やスロー再生中、サーチ再生中は、フェードは働きません。

RAM

編集〜並べ替え（シーンを並べ替える）

シーンの並べ替えは、プレイリスト内のシーンに限ります。
プレイリストを作成後、シーンの並べ替えを行なってください（☞ P.117「新規作成（プレイリストを作成する）」）。

RAM

編集〜結合（複数の動画を結合する）

複数の動画を一つにまとめることができます。
短いシーンをたくさん撮ったときなど、一つにまとめると便利です。
結合するには、必ず連続している複数の動画を選択してください。また、表示分類が「全て」の場合のみ結合できます。
静止画を結合することはできません。

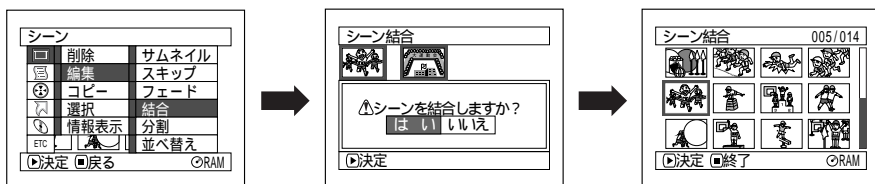
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **結合したいとなり合った複数のシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数シーンの選択は、P.96 をご覧ください。

3 **「シーン」→「編集」→「結合」を選び、決定する**

4 **「シーン結合」画面が表示されるので、結合したいシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
確認画面の 2 つの画像は、結合する最初のシーンと最後のシーンです。
結合しない場合は「いいえ」を選んでください。
結合後は、「シーン結合」のシーン選択画面に戻ります。
サムネイルは選択した最初のシーンが表示されます。
手順 4 〜 5 を繰り返して、他のシーンも結合できます。

6 **□（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する**

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。
- フェード設定は、選択範囲の先頭の動画のインの効果と、最終の動画のアウトの効果が引き継がれます。

ご注意
- プログラムが違う（撮影した日が違う）シーンを結合すると、電源を入れて最初のディスクナビゲーション起動時に管理情報追加のメッセージが表示されます（☞ P.178）。
追加メッセージで「はい」を選択すると、結合したシーンが分割されてしまいます。
「いいえ」を選択するとシーンは結合されますが、ディスクナビゲーションを起動するたびに管理情報追加のメッセージが表示されます。
プログラムが違うシーンを結合するときは、結合したいシーンをプレイリスト作成してから結合してください（☞ P.116「プレイリスト」）。

シーン

編集～分割（動画を分割する）

シーンを 2 つに分割することができます。
シーンの不要な部分を削除するときは、分割してから不要なほうを削除します。
シーンの一部を切り取ってプレイリストで利用することもできます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 分割したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「編集」→「分割」を選び、決定する

4 「シーン分割」画面が表示されるので、分割したいシーンに変更がなければこのまま決定する

選択したシーンが再生されます。
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

5 分割したい部分になったら「選択」ボタンを押す

6 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する

分割しない場合は「いいえ」を選んでください。
分割後は、「シーン分割」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 6 を繰り返して、他のシーンの分割もできます。

7 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

画面表示ボタンを押すと、再生情報表示が表示されます。

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。
- 分割位置を指定するときは、サーチやコマ送りを使うと便利です（☞ P.64）。
- 分割前のシーンにフェード設定をしていた場合は、インの効果は前半のシーンに、アウトの効果は後半のシーンに引き継がれます。
- 一度分割したシーンは、結合すると元のシーンに戻ります（☞ P.105の「編集～結合」をご覧ください）。

ご注意
- 分割位置が、指定した位置から前後に約 0.5 秒ずれる場合があります。
- スキップが設定されているシーンは、再生できないため、分割位置を指定できません。スキップを解除してから分割してください。
- 静止画を分割しようとした場合、メッセージが表示され、分割は行なわれません。
- 分割位置がシーンの先頭・末尾の場合、メッセージが表示され、分割は行なわれません。
- 記録時間が 0.5 秒以下の動画は分割できません。
- ディスクの残量が無くなると、分割できなくなることがあります。この場合は、不要な映像を削除してください。

RAM

コピー（DVD-RAM ディスクの静止画をカードにコピーする）

DVD-RAM ディスクに撮影した静止画を、カードにコピーすることができます。

始める前に

- コピーしたい静止画が録画してある DVD-RAM ディスクと、空きのあるカードを本機にセットしてください。
- 動画のコピーはできません。

1 **電源スイッチを「動画」または「静止画」に合わせる**

2 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

3 **カードへコピーしたい静止画を選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

4 **「シーン」→「コピー」を選び、決定する**

5 **「カードへコピー」の画面が表示されるので、コピーしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 **コピーする場合は、「はい」を選び決定する**
コピーしない場合は「いいえ」を選んでください。
コピー後は、「カードへコピー」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 ～ 6 を繰り返して、他のシーンもカードにコピーすることができます。

7 **□(停止／キャンセルボタンを押して終了する**

- 手順 5 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。
- 動画を含むシーンをすべて選択しても、静止画のみコピーされます。
- DVD-RAM ディスクに録画されている静止画を確認したい（☞ P.134「表示分類」）。

ご注意

- カードからディスクへのコピーはできません。
- ディスクからカードへコピーした静止画の画質は、ディスクで録画したときの画質のままでコピーされます。
- 本機以外で記録した静止画の場合は、正常にコピーできない場合があります。

ロック（カードのシーンをロックする）

カードに録画してあるシーンを誤って削除したり､編集したりしないようにシーンごとにロックすることができます。

1 電源スイッチを「カード 静止画」に合わせる

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

3 ロックしたいシーン選び､「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

4 「シーン」→「ロック」を選び、決定する

5 「ロック設定」画面が表示されるので、ロックしたいシーンに変更がなければ、このまま決定する

シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
設定後は、「ロック設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

6 □(停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ロックマーク

●ロック設定を解除するには

ロックが設定してあるシーンを選び、同じように設定してください。
ロックマークが消え、ロックが解除されます。

- 手順 5 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。

ご注意
- シーンにロックをかけていても、カードの初期化をすると消去されてしまいます（☞ P.131「初期化」）。

カード

DPOF（印刷したいシーンを指定する）

DPOF対応のシステムで活用できるように、プリントしたいシーンやプリント枚数の情報をカードに設定することができます。

ヒント

- DPOF とは Digital Print Order Format の略です。写真屋さんなどにプリントをお願いするときなどに使用します。

1 電源スイッチを「カード 静止画」に合わせる

2 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

3 設定したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

4 「シーン」→「DPOF」を選び、決定する

5 「DPOF設定」画面が表示されるので、設定したいシーンに変更がなければこのまま決定する

シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

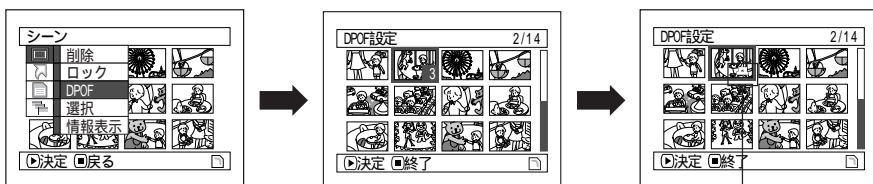
6 枚数を指定して、決定する

ジョイスティックで枚数を指定します。

上または右 .... 1 枚ずつ増えます
下または左 .... 1 枚ずつ減ります

設定後は、「DPOF 設定」のシーン選択画面に戻ります。
手順 4 ～ 5 を繰り返して、他のシーンにも設定することができます。

7 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ヒント

- 手順 4 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます（☞ P.100「サブメニューを使った編集」）。
- 複数シーンを選択しているとき枚数を指定すると、選択している複数のシーンに同じ枚数が設定されます。

ご注意

- 1 シーンのプリント枚数は最大 99 枚まで設定できます。
  ただし、1 カードの最大設定シーン数は、合計 999 シーンです。
- 他機で DPOF 設定すると、本機では認識できないことがあります。
  DPOF 設定は本機で設定してください。

シーン

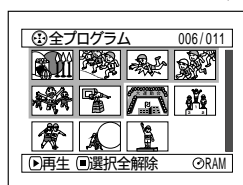
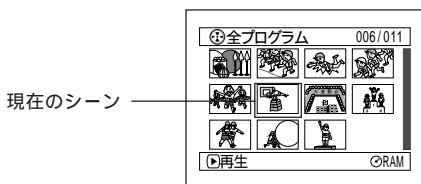
選択（連続するシーンを選択する）

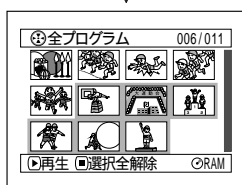
メニューを使って、連続するシーンを一度に選択できます。
シーン数が多いときなど､ジョイスティックを押して選ぶのがわずらわしいときに便利です。

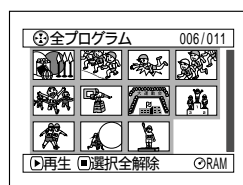
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **選択したい最初のシーンにカーソルを合わせる**

3 **「メニュー」ボタンを押す**

4 **「シーン」→「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、決定する**

「先頭からカーソル」を選択

最初のシーンから現在のシーンまで選択される

「カーソルから末尾」を選択

現在のシーンから最後のシーンまで選択される

「全て」を選択

最初のシーンから最後のシーンまですべて選択される

●選択したシーンを解除する

•1 シーンずつ解除する

解除したいシーンを選び、「選択」ボタンを押す。

•選んだシーンをすべて解除する

□(停止／キャンセル）ボタンを押す。

• 選択可能なシーン数は、最大 999 シーンです。

RAM　R　カード

情報表示（シーンの情報を表示する）

シーンの録画日時や録画時間、あるいは設定したフェード設定などの情報を表示できます。

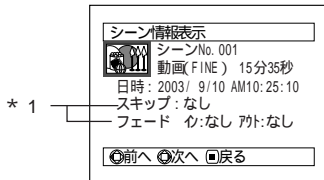
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

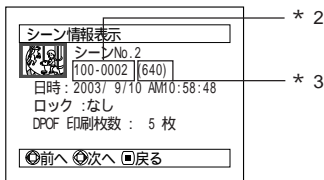
2 情報を知りたいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す

3 「シーン」→「情報表示」を選び、決定する

そのシーンの詳しい情報が表示されます。

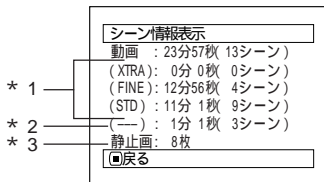
4 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

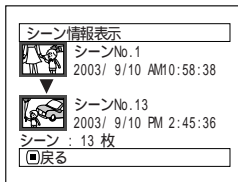
ディスクをお使いのとき

＊1 DVD-R ディスクをお使いのときは、表示されません。

カードをお使いのとき

＊2 DCF 準拠でない場合、表示されないことがあります。
＊3 静止画の水平方向の画素数を表します。

ヒント

- 任意の 1 シーンのみ表示されているときは、ジョイスティックを右へ押すと次のシーンの情報が表示され、左へ押すと前のシーンの情報が表示されます。
- 複数のシーンを選ぶとシーンの合計録画時間（静止画の場合は合計枚数）が表示されます。

ディスクをお使いのとき

＊1 DVD-R ディスクをお使いのときは FINE/STD/LPCM のいずれかの記録モードが表示されます。
＊2 他の機器で録画したときなど、記録モードが不明の場合に表示されます。DVD-R ディスクをお使いのときは、表示されません。
＊3 DVD-R ディスクをお使いのときは、表示されません。

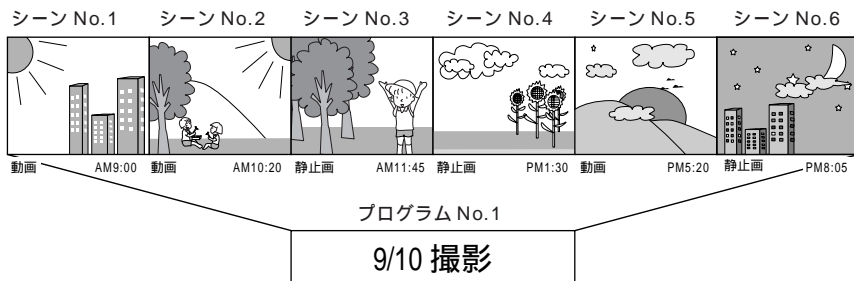
カードをお使いのとき

ご注意

- 他の機器で録画した DVD-R ディスク（ファイナライズ済）が入っているときは、シーン情報は表示されません。

シーン

プログラム

プログラムとは？

動画、静止画に関係なく、撮影日ごとのまとまりが「プログラム」になります。

RAM R

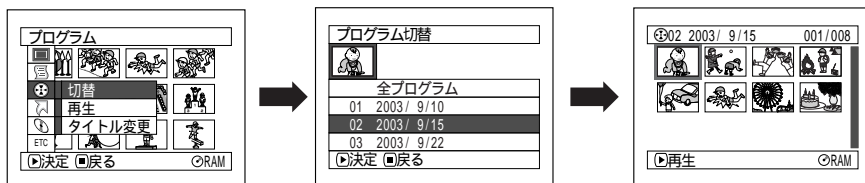
切替（日付ごとの表示に切り替える）

本機で録画されるシーンは、撮影日ごとに「プログラム」としてまとまっているので、プログラムを選択することで、特定の日付のシーンだけを表示できます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プログラム」→「切替」を選び、決定する**

4 **表示したいプログラムを選び、決定する**
選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 「プログラム切替」画面で ◻(停止／キャンセル）ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

プログラム

再生（プログラムを再生する）

選んだプログラムだけ再生することができます。

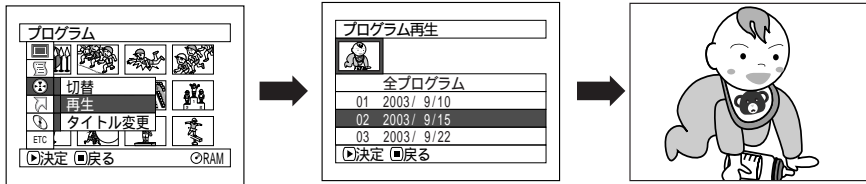
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プログラム」→「再生」を選び、決定する

4 再生したいプログラムを選び、決定する

選んだプログラムの先頭から再生が始まります。

ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プログラムも繰り返し再生されます（☞ P.135「リピート再生」）。

タイトル変更（プログラムのタイトルを変更する）

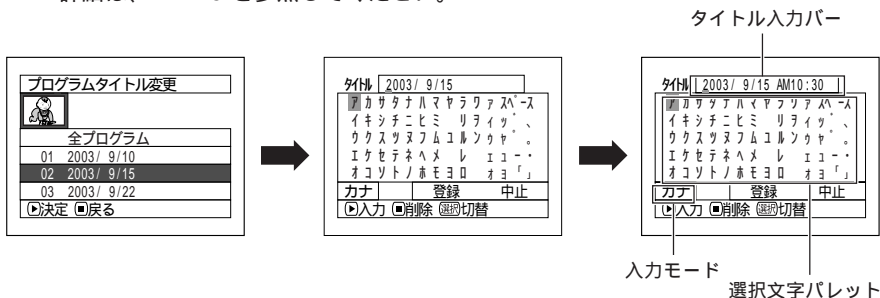
プログラムのタイトルには、撮影した日付がついています。
この日付をお好みのタイトルに変えることができます。

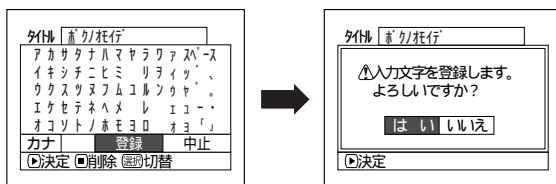
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

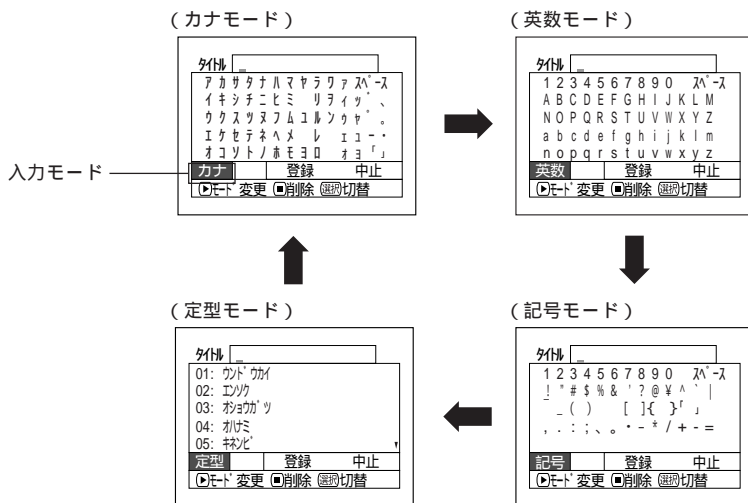
2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プログラム」→「タイトル変更」を選び、決定する**

4 **タイトルを変更したいプログラムを選び、決定する**
タイトル設定画面が表示されます。

5 **文字を選び、1 文字ごとに決定する**
選んだ文字が入力されます。
繰り返し行ない、タイトルをつけてください。
詳細は、P.115 を参照してください。

6 **入力が終わったら「登録」を選び、決定する**

7 **確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する**
設定しない場合は「いいえ」を選んでください。
設定後は、選んだプログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

●タイトルの入力について

タイトルには「カナ」のほかに「英数」「記号」「定型文」から選ぶことができます。
ジョイスティックで入力モードを選んで ▶/II を押すか、「画面表示」ボタンを押してください。
ボタンを押すごとに、下記のようにタイトル入力画面が変わります。

ヒント

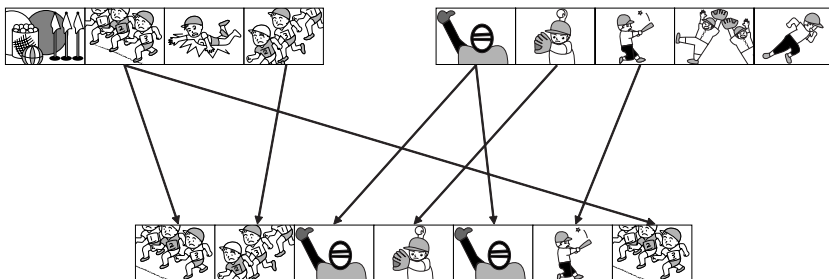
- タイトルの文字を消すときは □（停止／キャンセル）ボタンを 1 回押してください。1 文字削除されます。
  □（停止／キャンセル）ボタンを押しつづけると、「タイトル」のところに表示してある文字が、すべて削除されます。
- 「選択」ボタンを押すと、カーソルの位置が「タイトル入力バー」、「選択文字パレット」、「入力モード」、「中止」の順に切り替わります。
- 文字を削除するとき、リモコンの削除ボタンを押しても同じように削除されます。
- タイトル入力を中止する場合は、タイトル入力画面で「中止」を選んでください。中止の確認画面が表示されます。中止する場合は、「はい」を選んでタイトル設定を中止してください。
- タイトル設定の確認画面で □（停止／キャンセル）ボタンを押しても、タイトル入力画面に戻ります。
- 他の機器で全角文字のタイトルを設定した場合、本機で表示すると空白になることがあります。
- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。

プレイリスト

プレイリストとは？

録画したシーンの中からお好みのシーンを集めたリストのことです。
データをコピーして作るわけではありませんので、ディスク容量はほとんど使いません。
また、削除しても録画できる容量は増えません。

（例）

プログラム１（2003/9/10 撮影）　　プログラム２（2003/9/15 撮影）

プレイリスト１作成

プレイリストは No.99 まで作成可能です。
ただし、No.1 ～ No.99 までの合計シーンは 999 シーンまでです。

新規作成(プレイリストを作成する)

プレイリストを作ってみましょう。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

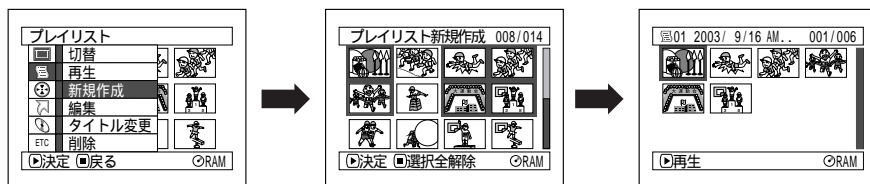
2 **プレイリストを作成したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す**
複数のシーンを選ぶこともできます(☞ P.96、110)。

3 **「プレイリスト」→「新規作成」を選び、決定する**

4 **シーン選択画面が表示されるので、選んだシーンに変更がなければこのまま決定する**
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。
あとから別の日のシーンを追加したり、不要なシーンを削除することもできます(☞ P.120 ~ 123)。

5 **作成完了すると、ディスクナビゲーション画面が表示される**

ヒント

- プレイリストに記録されるのは、シーンの情報だけです。
  プレイリストを作成したり、削除しても、元のプログラムのシーンはなくなりません。
  また、プレイリストのシーンを編集しても、元のプログラムのシーンには影響しません。
- プログラムのシーンに「スキップ設定」や「フェード設定」などの設定がある場合、その情報もプレイリストに加わります。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。

- ディスクの残量が無くなると、プレイリストを作成できなくなることがあります。
  この場合は、不要な映像を削除してください。

プレイリスト

切替（プレイリストごとの表示に切り替える）

複数のプレイリストからお好みのものを選ぶと､ディスクナビゲーション画面が表示されます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「切替」を選び、決定する

4 「プレイリスト切替」画面で、表示させたいプレイリストを選び決定する
選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻すときは､「プレイリスト切替」画面で「全プログラム」を選んでください。

●プレイリストの内容を編集する

プレイリストにタイトルをつけたり､フェードやスキップなどの設定は､シーンやプログラムに設定する方法と同じです。
それぞれの参照ページでご覧になり、設定してください。

スキップ設定 ...P.102
フェード設定 ...P.103
シーンの結合 ...P.105
シーンの分割 ...P.106
タイトル変更 ...P.114

再生（プレイリストを再生する）

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プレイリスト」→「再生」を選び、決定する**

4 **「プレイリスト再生」画面で、再生したいプレイリストを選び決定する**
選んだプレイリストが最初から再生されます。
再生を途中でやめたい場合は、□(停止／キャンセル）ボタンを押してください。
再生中のプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 「リピート再生」が「オン」に設定されているときは、プレイリストも繰り返し再生されます（☞ P.135「リピート再生」）。

編集（プレイリストにシーンを追加する）

プレイリストに別のシーンを追加できます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

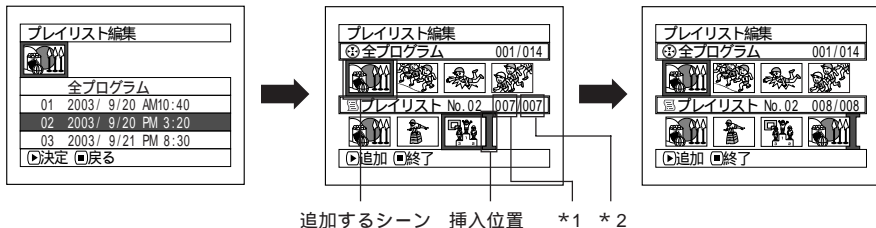
3 **「プレイリスト」→「編集」を選び、決定する**

4 **プレイリスト選択画面で、編集したいプレイリストを選び決定する**
上段に追加できるシーンが表示され､下段に追加先のプレイリストのシーンが表示されます。

5 **ジョイスティックを下へ押してカーソルを下段に移し､左右に動かして挿入位置を選ぶ**

6 **ジョイスティックを上へ押してカーソルを上段に移し､左右に動かして追加したいシーンにカーソルを合わせる**
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

7 **▶/II を押して、決定する**
追加が終了すると、編集後のプレイリストが表示されます。
手順 5 〜 7 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

8 **□(停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される**

＊１：プレイリストのシーン番号
＊２：プレイリスト中の全シーン数

ヒント

- 緑の I カーソルは、画面の挿入位置を示します。
- 「画面表示」ボタンを押すと、操作ガイドに選択しているシーンの撮影日時が表示されます。もう一度押すと元に戻ります。

- 設定の途中､□(停止／キャンセル）ボタンを押すと､「プレイリスト編集」終了の確認画面が表示されます。
  終了してよい場合は「はい」を選んでください。
  「いいえ」を選ぶと「プレイリスト編集」画面に戻ります。
- 手順 5 〜 6 のときに「メニュー」ボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。このサブメニューからもシーンの追加が可能です。詳しくはP.122からの説明をご覧ください。

編集（プレイリストのシーンを削除する）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる

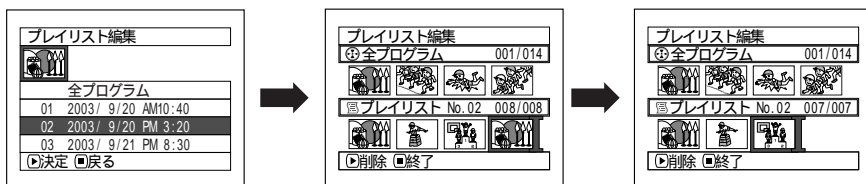
P.120 の手順 2 ～ 4 の操作をしてください。

3 下段のプレイリストにカーソルを移動し、削除したいシーンにカーソルを合わせる

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

4 ▶/II を押して、決定する

手順 3 ～ 4 を繰り返して、他のシーンも削除できます。

5 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

ヒント

- 削除したいシーンにカーソルを合わせてリモコンの「削除」ボタンを押しても、プレイリストのシーンを削除することができます。

編集（編集のサブメニューを使ったシーンの追加）

編集画面のメニューで、プレイリストに別のシーンを追加することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる

P.120 の手順 2 ～ 4 を行なってください。

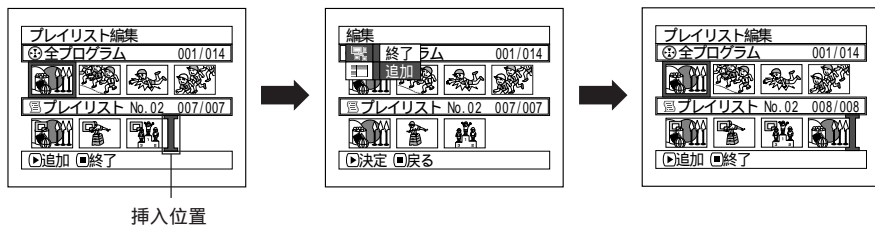
3 下段のプレイリストから挿入したい位置を選ぶ

4 上段のプレイリストから追加したいシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す

複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

5 「編集」→「追加」を選んで、決定する

手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも追加できます。

6 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

編集（編集のサブメニューを使ったシーンの削除）

編集画面のメニューで、プレイリストのシーンを削除することができます。

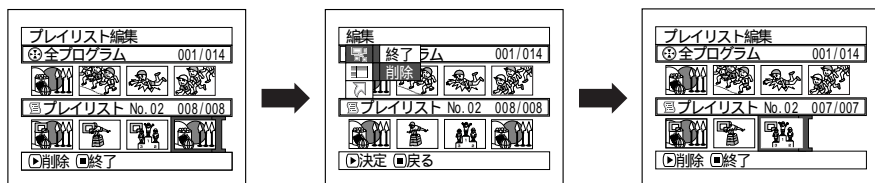
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 編集したいプレイリストの編集画面を表示させる
P.120 の手順 2 ～ 4 を行なってください。

3 カーソルを下段のプレイリストに移動させる

4 削除したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます（☞ P.96、110）。

5 「編集」→「削除」を選び、決定する
手順 3 ～ 5 を繰り返して、他のシーンも削除できます。

6 □（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される

ヒント

- プレイリストに登録してあるシーンをすべて削除すると、プレイリストも削除されます。

編集（編集のサブメニューを使ったシーンの選択）

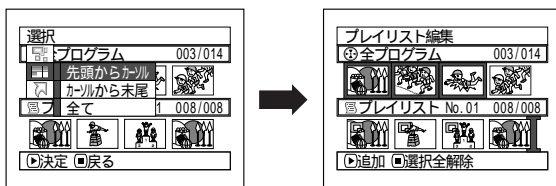
連続している複数のシーンをプレイリストに追加したり、プレイリストから連続している複数のシーンを削除するときに、シーンの範囲を指定することができます。
シーンの追加や削除で、複数のシーンを選択するときに便利です。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **編集したいプレイリストの編集画面を表示させる**
P.120 の手順 2 〜 4 を行なってください。

3 **選択したいシーンの最初のシーンにカーソルを合わせ、「メニュー」ボタンを押す**

4 **「選択」→「先頭からカーソル」または「カーソルから末尾」または「全て」を選び、決定する**
選択されるシーンについては、P.110 を参照してください。

5 **□（停止／キャンセル）ボタンを押すと、終了確認画面が表示される**

編集(シーンの並べ替え)

シーンの並べ替えができます。
並べ替えするには、表示分類が「全て」の場合のみです。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」→「プレイリスト」→「切替」で編集したいプレイリストを選び、決定する
P.118 のプレイリスト「切替」を参照してください。

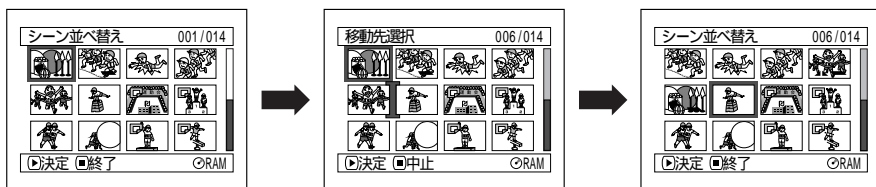
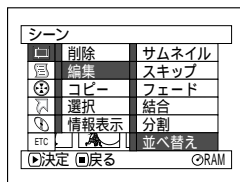
3 移動したいシーンを選び、「メニュー」ボタンを押す
複数のシーンを選ぶこともできます(☞ P.96、110)。

4 「シーン」→「編集」→「並べ替え」を選び、決定する

5 「シーン並べ替え」画面が表示されるので、移動したいシーンに変更がなければ、このまま決定する
シーンを変更したい場合は、ここの画面で変更できます。

6 移動したい場所へ I マークを移動して、決定する

7 確認画面が表示されるので、「はい」を選び決定する
並べ替えをしない場合は「いいえ」を選んでください。
並べ替え後は、「シーン並べ替え」のシーン選択画面に戻ります。
手順 5 ～ 7 を繰り返して、他のシーンも並べ替えることができます。

8 □(停止/キャンセル)ボタンを押して終了する

ヒント

- 手順 5 のとき決定ボタンを押す前に「メニュー」ボタンを押すと、サブメニュー画面が表示されます(☞ P.100「サブメニューを使った編集」)。
- 静止画も並べ替えできます。

ご注意 • シーンの並べ替えができるのはプレイリストのみです。

プレイリスト

タイトル変更（プレイリストのタイトルを変更する）

プレイリストのタイトルには作成順に付く通し番号と、プレイリストを作成した日時が設定されています。
このタイトルをお好みのタイトルに変更することができます。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「プレイリスト」→「タイトル変更」を選び、決定する**

4 **「プレイリストタイトル変更」画面で、タイトルを変更したいプレイリストを選び決定する**

タイトル設定画面が表示されます。
タイトルの設定方法は、P.114 プログラムの「タイトル変更」をご覧ください。
タイトル変更後は、タイトルを変更したプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。
プレイリストの作成日時のかわりに設定したタイトルが表示されます。
設定後は、選んだプレイリストのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ヒント

- 登録したタイトルは、同じ手順で何度でも変更できます。

削除（プレイリストを削除する）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「プレイリスト」→「削除」を選び、決定する

4 「プレイリスト削除」画面で、削除したいプレイリストを選び決定する

5 確認画面が表示されるので「はい」を選び決定する

削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
削除後は、全プログラムのディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- プレイリストを削除しても、元のシーン（プログラムのシーン）は削除されません（☞ P.117）。
- プレイリストを削除すると、プレイリスト番号は自動的に変更されます（例えば、No. 2 のプレイリストを削除すると、No. 3 のプレイリストが No. 2 のプレイリストになります）。

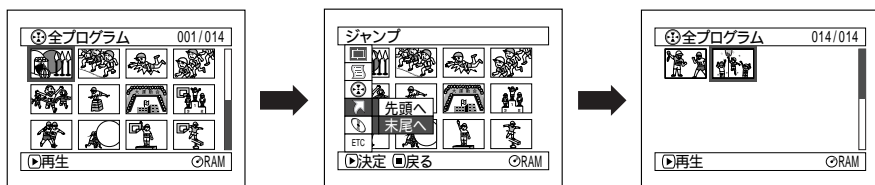
ジャンプ

ディスクナビゲーション画面で、先頭のシーンまたは末尾のシーンにジャンプすることができます。

先頭へ（末尾へ）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ジャンプ」→「先頭へ」または「末尾へ」を選び、決定する

（末尾を選択した場合）

ディスクまたはカード

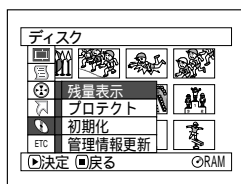
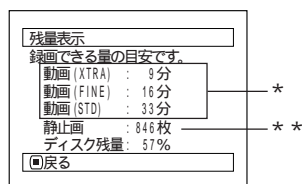
RAM　R　カード

残量表示

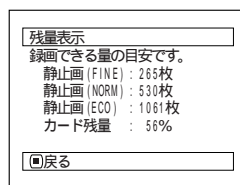
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「残量表示」を選び、決定する

「残量表示」の画面が表示されます。

（ディスクをお使いのとき）

＊　DVD-Rディスクをお使いの場合は、最初に録画したモード（FINEまたはSTDまたはLPCM）のみ表示されます。

＊＊DVD-Rディスクをお使いの場合は、表示されません。

（カードをお使いのとき）

4 □（停止／キャンセル）ボタンを押して終了する

ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ヒント

- ディスクプロテクトされたディスクやロックされたカードでは、残量が 0 と表示されます。

プロテクト（ディスクを書き込み禁止にする）

DVD-RAM ディスクに記録してある映像を誤って削除したり、初期化したりできないように、プロテクトをかけることができます。

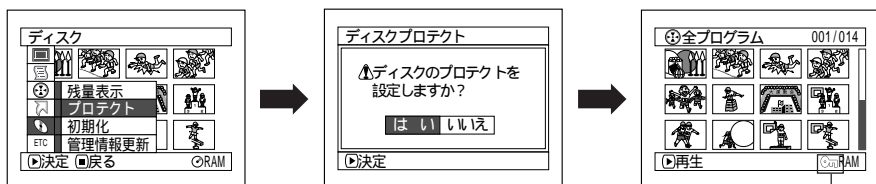
1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」→「プロテクト」を選び、決定する

確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する

設定しないときは「いいえ」を選んでください。
設定後は, ディスクナビゲーション画面に戻ります。

ディスクプロテクト
アイコン

- ディスクプロテクトを解除するときは、同様の操作をすると、プロテクト解除の確認画面が表示されます。
  解除する場合は、「はい」を選んで解除してください。

- ディスクプロテクトを設定すると、解除するまで録画もできなくなります。

RAM　カード

初期化（DVD-RAM ディスクやカードを初期化する）

始める前に

- 初期化するときは、途中で電源が切れないようにしてください。初期化の途中で電源が切れて中断すると、正しく初期化されません。ディスクやカードに記録されているデータが破壊される場合もあります。

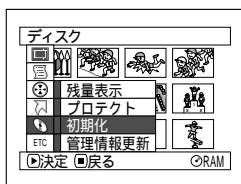
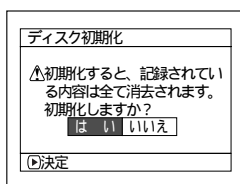
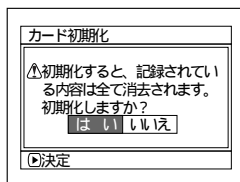
1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「ディスク」または「カード」→「初期化」を選び、決定する**

「ディスク初期化」または「カード初期化」の確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、決定する**

初期化しないときは「いいえ」を選んでください。

- 撮影済みの内容をすべて消去したい場合、シーンを削除するより、初期化したほうが短時間で消去できるので便利です。

ご注意

- 初期化すると録画された内容はすべて消去されます。誤って初期化しないよう、よく確認してから行なってください。
- 傷や汚れの多いディスクは、初期化ができない場合があります。このようなディスクは使用できません。
- 新品のDVD-Rディスクをお使いになると、「このディスクは初期化されていません」と表示されます。表示されるメッセージに従い、初期化してください（☞ P.39）。
- パソコンや他機で初期化したディスクやカードでは、本機で認識できない場合や記録 / 再生できない場合があります。
- 本機とパソコンを PC 接続ケーブルで接続し、本機に挿入したディスクやカードを初期化した場合は、正常に初期化できず、ディスクやカードが使用できなくなる場合があります。

管理情報更新（DVD-RAM ディスクの管理情報を更新する）

RAM

本機のディスクナビゲーションは、スキップやフェードなどのシーンに関する情報が独自の方法で管理されています。
本機で録画したディスクを他の機器で編集した場合、本機のディスクナビゲーションで正常に表示されない場合があります。
このようなときに管理情報更新をお使いください。

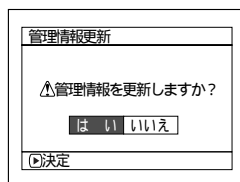
始める前に

- 管理情報を更新するときは、途中で電源が切れないように、必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。管理情報更新の途中で電源が切れて中断すると、正しく更新されません。

1 **「ディスクナビゲーション」ボタンを押す**

2 **「メニュー」ボタンを押す**

3 **「ディスク」→「管理情報更新」を選び、決定する**
「管理情報更新」の確認画面が表示されます。

管理情報更新
⚠管理情報を更新しますか？
は　い　いいえ
▶決定

4 **「はい」を選び、決定する**
更新中のメッセージが表示され、ディスクの管理情報が更新されます。
更新中のメッセージが表示されている間、黒い画面が出ることがあります。
更新しないときは「いいえ」を選んでください。
ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- 管理情報更新は、録画されているシーンが多い場合には、時間がかかる場合があります。
- 管理情報を更新しても、本機のディスクナビゲーションで使えないディスクもあります。

ファイナライズ（DVD-R ディスクを DVD プレーヤーで再生する）

始める前に

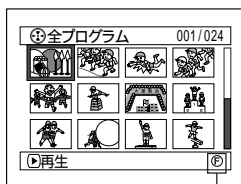
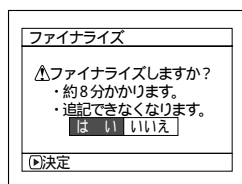
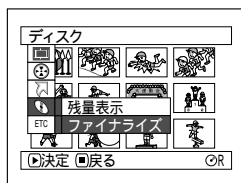
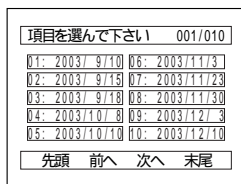
- ディスクをファイナライズするときは、ACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってのファイナライズはできません。ファイナライズの途中で電源が切れて中断すると、正しくファイナライズされません。ディスクが壊れることもあります。

本機で記録したDVD-RディスクをDVDプレーヤーなど、8cm DVD-R対応機器で再生する場合、「ファイナライズ」という操作が必要です。
ファイナライズ後はDVDプレーヤーで「DVDビデオ」として再生できます。
このとき、DVDプレーヤーのメニュー画面にはプログラムの日付がタイトルとして表示されます。
一度ファイナライズしたDVD-Rディスクには記録ができませんので、ご注意ください。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「ディスク」の「ファイナライズ」を選び、決定する
ファイナライズの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選び、決定する
ファイナライズ中のメッセージが表示され、ディスクがファイナライズされます。
ファイナライズされたディスクのディスクナビゲーション画面にはⒻと表示されます。
終了すると、全プログラムのディスクナビゲーション画面が表示されます。

ファイナライズ済みのディスク

（DVD プレーヤーで見たときの画面）

- 本機で録画したディスクは、本機以外でファイナライズしないでください。
- すでにファイナライズされてあるディスクが入っている場合は、「ファイナライズ」は表示されません。
- ファイナライズした DVD-R ディスクは、録画ができなくなります。
- ファイナライズにかかる時間は目安です。
- 録画時間が短いと、ファイナライズに時間がかかります。

その他設定

RAM

表示分類（静止画または動画別に表示する）

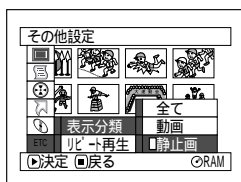
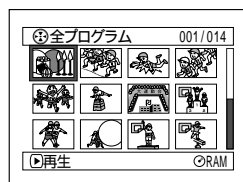
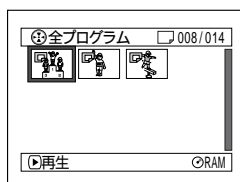
撮影したシーンは、動画・静止画に関係なく、撮影順にディスクナビゲーション画面に表示されます。
この表示を静止画だけや動画だけの表示に切り替えることができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「その他設定」→「表示分類」を選び、決定する

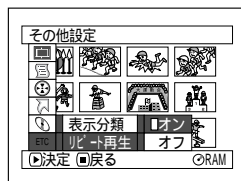
4 設定したい項目を選び、決定する

「全て」......... 動画・静止画に関係なく、撮影順にすべて表示されます
「動画」......... 動画のみ撮影順に表示されます
「静止画」..... 静止画のみ撮影順に表示されます

「静止画」のみ表示した場合

リピート再生（繰り返し再生する）

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「その他設定」→「リピート再生」を選び、決定する

4 「オン」を選び、決定する
設定しないときは、「オフ」を選んでください。
▶/II 押しで再生を始めます。

●リピート再生が設定されると

範囲を指定していないときは、最後のシーンの再生が終わると、最初のシーンからすべてのシーンの再生が繰り返されます。
範囲を指定していたときは、その範囲の再生が繰り返されます。
複数のシーンを選ぶときは、P.96 をご覧ください。

●リピート再生を解除するには

下記の 3 方法のどれかで解除してください。
・ 手順 4 で「オフ」を選ぶ
・ 一度電源を切る
・「ディスク取出し」ボタンを押して、一度ディスクを取り出す

- 再生を終了するには □(停止／キャンセル) ボタンを押します。ただし、リピート再生の設定が解除されるわけではありません。
- 静止画のリピート再生もできます。

ご注意 • 記録一時停止した状態から再生した場合は、リピート再生が働きません。

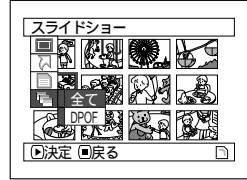
スライドショー（連続再生する）

カードに録画してあるシーンを再生すると、1枚再生するごとに再生一時停止状態になります。
スライドショーを設定すると、連続再生することができます。

1 「ディスクナビゲーション」ボタンを押す

2 「メニュー」ボタンを押す

3 「スライドショー」→「全て」または「DPOF」を選び、決定する

「全て」……… カードに記録してあるシーンすべてをスライド再生します。
「DPOF」….. DPOF 設定してあるシーンだけをスライド再生します。

▶/II 押しで再生を始めます。
再生が終わると、最後の画像で再生一時停止状態になります。
□(停止／キャンセル) ボタンを押すと、ディスクナビゲーション画面に戻ります。

- カーソル位置にかかわらず最初のシーンから再生を開始します。

- □(停止/キャンセル) ボタンを押したり、電源を切ったりすると、スライドショーは解除されます。

RAM R カード

パソコンと接続する

パソコンと接続してこんなことができます！

同梱の PC 接続ケーブルとソフトウェア CD-ROM、または市販のソフトウェアをお使いになると、本機で撮影した動画や静止画をパソコンで利用することができます。

● 本機で記録した DVD-RAM ディスクやカードの静止画をパソコンで利用する（☞ P.155、156）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録した DVD-RAM ディスクまたはカード	JPEG ファイルが利用可能なアプリケーション • DVD-RAM ディスクまたはカードの DCIM \ 100HPNX1 フォルダを開く

● 本機で記録した DVD-RAM ディスクをパソコンで見る（☞ P.157）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録した DVD-RAM ディスク	DVD-MovieAlbumSE* または、市販の DVD-VR 対応再生ソフトウェア (例)サイバーリンク社 PowerDVD XP など

● 本機で記録した DVD-R ディスクをパソコンで見る（☞ P.157）

元のディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したファイナライズ済みの DVD-R ディスク	市販の DVD ビデオ対応再生ソフトウェア (例)サイバーリンク社 PowerDVD XP など

● 本機で記録した DVD-RAM ディスクの内容をパソコンを使って別の DVD-RAM ディスクにコピーする（☞ P.155）

元のディスク	書き込むメディア	使用するアプリケーション
本機で記録した DVD-RAM ディスク	別の DVD-RAM ディスク	DVD-MovieAlbum コピーツール * • 一度パソコンのハードディスクにコピーしたあと、別の DVD-RAM ディスクに書き込みます。 • プログラム単位でコピーすることもできます。

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの映像をパソコンで編集する（☞ P.157）

元のディスク	書き込むディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク	元のDVD-RAMディスクまたは別のDVD-RAMディスク	DVD-MovieAlbumSE*

● 本機で記録したDVD-RAMディスクの映像をパソコンで編集してDVDビデオを作る（☞ P.161）

元のディスク	書き込むディスク	使用するアプリケーション
本機で記録したDVD-RAMディスク	何も記録していないDVD-Rディスク	• DVD-MovieAlbumSE* • MyDVD*

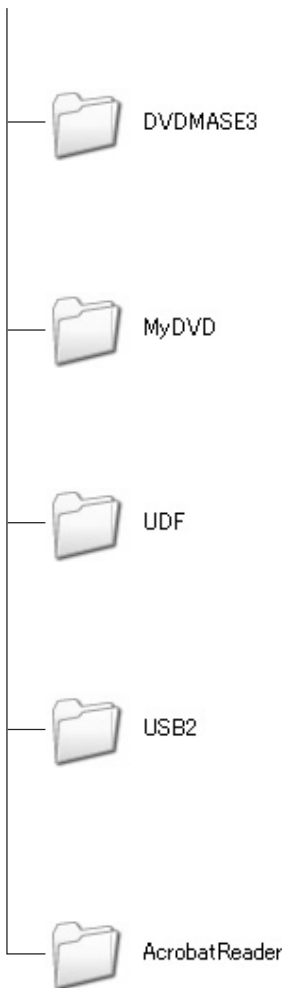
* 同梱のCD-ROMに納められているソフトウェアです。

ご注意
- 本機に同梱のソフトウェアでは、DVD-Rディスクに記録した映像を編集することはできません。

各ソフトウェアの対応する言語

- DVD-MovieAlbumSEおよびUDFドライバ（DVD-RAMドライバ）は日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語に対応しています。
- DVD-MovieAlbumSEに付属する3D-TitleSTUDIOは、日本語および英語に対応しています。
- MyDVDは日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡字体、繁字体）、オランダ語、韓国語、ポルトガル語、スウェーデン語、タイ語に対応しています。
- 添付ソフトウェアは、お使いのWindows®の言語と同じものが自動的にインストールされます。上記言語以外のWindows®の場合は、英語版がインストールされます。

同梱 CD-ROM の内容

本機に同梱されている CD-ROM の内容は、以下の通りです。

DVDMASE3
DVD-MovieAlbumSEのインストーラが入っています。
（インストール方法→ P.150）
DVD-MovieAlbum を使うと、DVD-RAM ディスクに録画した映像の編集や、3D タイトルの作成が行なえます。

MyDVD
MyDVD のインストーラが入っています。
（インストール方法→ P.151）
MyDVD を使うと、DVD-MovieAlbum で編集した動画から、DVD-Videoディスクを作成することができます。

UDF
UDF ドライバのインストーラが入っています。
（インストール方法→ P.148）
DVD-RAM ディスクに録画された JPEG 静止画をパソコンで利用する場合に、インストールする必要があります。

USB2
本機用の USB2.0 ドライバが入っています。
（インストール方法→ P.142）
本機を同梱のPC接続ケーブルでパソコンに接続する場合に、インストールする必要があります。パソコンのUSB端子がUSB1.1 の場合でも、このドライバを使用します。

AcrobatReader
AcrobatReader のインストーラが入っています。
お使いのパソコンに AcrobatReader がインストールされていない場合は、DVD-MovieAlbumSE、UDF ドライバのオンラインマニュアル（取扱説明書ファイル）を開くためにインストールする必要があります。

上記以外に、フォルダやファイルが入ってる場合がありますが、特に説明がない限り、本機では使用しません。

各ソフトウェアの詳細な取扱説明書（マニュアル）は、パソコンで閲覧できる電子取扱説明書（オンラインマニュアル）でのご提供になります。

● DVD-MovieAlbumSE

下記のいずれかの方法で、取扱説明書を閲覧できます。

・ 同梱CD-ROMの中の、DVDMASE 3\manual\Japaneseフォルダの中にあるPDFファイルを開く。
・ DVD-MovieAlbumSEをインストールした後、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Hitachi DVDCAM」-「DVD-MoveiAlbumSE」の中の「オンラインマニュアル」を開く。

上記のマニュアルの閲覧には、Adobe Acrobet Reader（アドビ・アクロバット・リーダー）が必要になります。
お使いのパソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、同梱CD-ROMの中のAcrobatReader\Japanese\AR505JPN.exeを起動してAdobe Acrobat Readerをインストールしてください。

● MyDVD

・ MyDVDをインストールした後、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「Sonic」-「MyDVD」-「ドキュメント」フォルダ内で電子取扱説明書が開けます。

上記のマニュアルの閲覧には、パソコンにWebブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープコミュニケーターなど）がセットアップされていることが必要です。MyDVDの電子取扱説明書が開けない場合は、お使いのパソコンの製造元にWebブラウザのセットアップ方法をお問い合わせください。

● UDFドライバ（DVD-RAMドライバ）

・ UDFドライバ（DVD-RAMドライバ）をインストールした後、Windows®の「スタート」メニューから「プログラム」または「すべてのプログラム」-「DVD-RAM」-「DVD-RAMドライバー」-「DVD-RAMディスクの使い方」を開く。

※ USBドライバには電子取扱説明書はありません。

ソフトウェア CD-ROM を開封する前に、P.197 の「使用許諾契約書」をお読みください

使用できるパソコンの条件

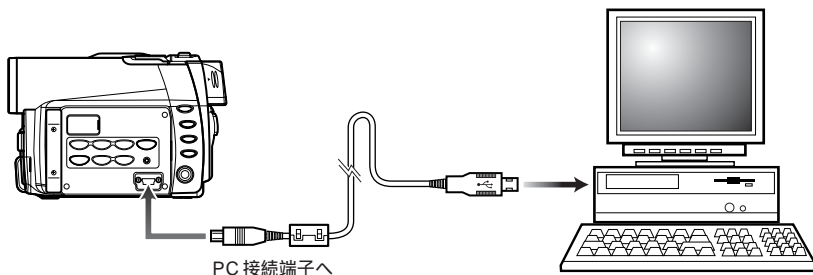
- OS：Windows® 98 Second Edition ／ Me ／ 2000 Professional ／ XP
- パソコン：IBM PC/AT 互換（DOS/V）機
- CPU：Intel® Pentium® III 450MHz 以上、Celeron™ 633MHz 以上（Pentium® 4 1.2GHz 以上推奨）
  Intel®製／AMD®製以外の Pentium®互換 CPU では動作しない場合があります。なお、AMD®製の K6-2®／K6-III®では動作しない場合があります。
- メモリ： 128MB 以上（256MB 以上推奨）
- ハードディスクの空き容量：400MB 以上（動画、静止画データをコピー、編集するのに必要な容量を除く。）
- CD-ROM ドライブ（ソフトウェアのインストールに使用します）
- 1024 × 768 ピクセル以上、および 65,536 色（16 ビットカラー）以上表示可能な DirectX® 8.1 以上に対応したディスプレイアダプタ（ビデオメモリ 4MB 以上）およびディスプレイ
- DirectSound® 対応のサウンドカード
- USB：本製品のために 1 ポートの空きが必要（USB2.0 ポートを推奨）

- 以下の場合は動作保証しません。
  - Windows® 98 Second Edition ／ Me ／ 2000 Professional ／ XP 以外の OS をインストールした場合
  - Intel®製、AMD®製以外の Pentium®互換 CPU での動作
  - USB ハブを経由して接続した場合
  - 同梱の PC 接続ケーブルとミニ USB　B コネクタ 5 ピンタイプの PC 接続ケーブル（市販）以外で接続した場合
  - パソコン本体に本機、キーボード、マウス以外の USB 機器を接続している場合
- マルチプロセッサには対応していません。
- Windows® 98 でもご使用になれますが、DVD-MovieAlbumSE の全機能を使うには、Windows® 98 Second Edition 以降の OS が必要です。
- 使用できるパソコンの条件を満たしていても、お使いの他のソフトウェアや機器との組合わせにより、動作に不具合を生じたり、使用制限が生じたりすることがあります。

USB デバイスドライバをインストールする

パソコンに本機を認識させるため、USB デバイスドライバをインストールする必要があります。

● PC 接続ケーブルでパソコンと接続する

PC 接続ケーブルを使って、本機とパソコンを下の図のように接続します。

- PC 接続ケーブルから本機へは電源が供給されません。電源は AC アダプター／チャージャーをお使いください。
- パソコンと接続するときは、AV ／ S 入出力ケーブルや外部マイクは外してください。
- 本機とパソコンを接続すると、ディスク／PC接続ランプが緑色に点灯します。また、DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにアクセスしている間は、オレンジ色に点灯または点滅します。SDメモリーカードやマルチメディアカードにアクセスしている間はカードアクセスランプが赤色に点灯または点滅します。
- P.153 の「パソコンと接続するときの注意事項」をお読みください。

●インストールする

1 同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

このとき起動している他のアプリケーションはすべて終了してください。
コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合には、無効にしてください。

2 本機の電源を入れる

3 本機とパソコンを PC 接続ケーブルで接続する

接続のしかたは、「PC 接続ケーブルでパソコンと接続する」を参照してください。

以下、各 OS 別に USB デバイスドライバのインストール方法を説明します。

- Windows® XP → P.144
- Windows® 2000 Professional → P.145
- Windows® Me → P.146
- Windows® 98 Second Edition → P.147

本機をパソコンに接続すると、ドライブとして認識されます。Windows 上でのドライブの表示のされ方は、以下のようになります。

[Windows® XP の場合]

本機の電源スイッチを「動画」または「静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、光ディスクドライブとして認識され、本機にセットされている DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにアクセスできます（アイコンの形状や、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

DVD_CAMERA (G:)

本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされているSDメモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセスできます（G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (G:)

[Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professionalの場合]

本機の電源スイッチを「動画」または「静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、２つのドライブとして認識されます。本機に DVD-RAM ディスクがセットされている場合は、リムーバブルディスク側のアイコンからアクセスできます。本機に DVD-Rディスクがセットされている場合は、光ディスクドライブ側のアイコンからアクセスできます（アイコンの形状や、F:、G:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります。また２つのドライブの順番は図と逆になる場合があります。）。

（DVD-RAM） リムーバブル ディスク (F:)
（DVD-R） (G:)

本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせてパソコンと接続した場合、リムーバブルディスクとして認識され、本機にセットされているSDメモリーカードまたはマルチメディアカードにアクセスできます（アイコンの形状や、F:などのドライブ名はお使いのソフトウェア環境により異なります）。

リムーバブル ディスク (F:)

- パソコンに接続中でも電源スイッチを切り替えることはできます。その際は一度、PC接続の終了（P.159）を行なってください。

ご注意
- DVD-RAMディスクに記録されている動画ファイルは、エクスプローラから操作しないでください。DVD-MovieAlbumSE または DVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください。また、DVD-RAM ディスクに記録された静止画は、パソコンで削除しないでください。
- ディスクとカードを同時にアクセスすることはできません。
- Windows® Me／2000 Professionalのパソコンと接続中に本機の電源スイッチを切り換える場合は、P.159 の手順に従ってください。

[Windows® XP の場合]

4 **「新しいハードウェアの検索ウイザード」が起動するので、「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする**

5 **ドライバの検索が行なわれたあと、検出されたドライバの一覧表が表示されるので、「場所」の項目が「d:\usb2\win2kxp\dz322kxp.inf」（ただし d:の部分はお使いのパソコンにより異なります）となっているドライバを選択し、「次へ」をクリックする**

バージョン番号は下図と異なることがあります。

6 **Windows®のロゴテストに関するメッセージが表示されるので、「続行」をクリックする**

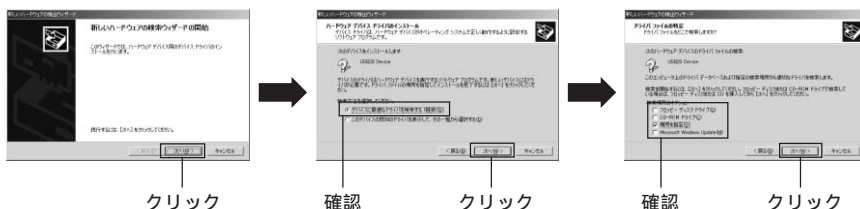
7 **ドライバのインストールが完了したという画面が表示されるので、「完了」をクリックする**

[Windows® 2000 Professionalの場合]

4 「新しいハードウェアの検索ウイザード」が起動するので、「次へ」をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

6 「場所を指定」のチェックボックスだけをチェックして、「次へ」をクリックする

「場所の指定」以外のチェックボックスは、チェックしないでください。

7 「参照」をクリックして「D:\USB2\Win2kxp」を指定して、「OK」をクリックする

D:の部分はお使いのパソコンにより異なります。CD-ROMを入れたドライブを選んでください。

8 「次へ」をクリックする

9 「新しいハードウェアの検索ウイザードの完了」画面が表示されるので、「完了」をクリックする

ご注意
- Windows® 2000 ProfessionalにUSBドライバをインストール中に「例外0A」エラーが発生する場合は、Windows® 2000サービスパック3以降をインストールすると解決される場合があります。Windows® 2000サービスパック3の入手方法につきましては、お使いのパソコンの製造元、またはマイクロソフト社にお問い合わせください。

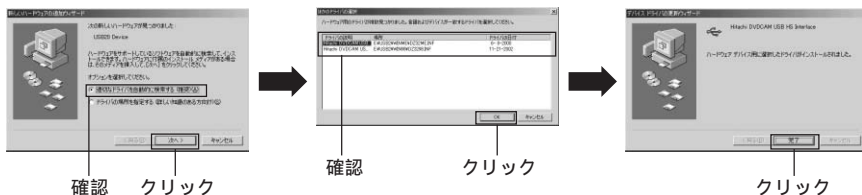
[Windows® Me の場合]

4 **「新しいハードウェアの追加ウイザード」が起動するので、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、「次へ」をクリックする**

5 **ドライバの検索が行われたあと、検出されたドライバの一覧表が表示されるので、「場所」の項目が「E:\USB2\WINME\DZME32.INF」（ただしE:の部分はお使いのパソコンにより異なります）となっているドライバを選択し、「次へ」をクリックする**

ドライバの日付は下図と異なることがあります。

6 **「完了」をクリックする**

パソコンと接続する

[Windows® 98 Second Editionの場合]

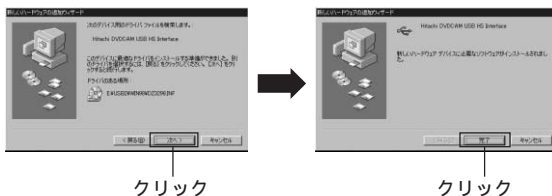
4 **「新しいハードウェアの追加ウイザード」が起動するので、「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、「次へ」をクリックする**

5 **「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、「次へ」をクリックする**

6 **「検索場所の指定」のチェックボックスだけをチェックして、「E:¥USB2\Win98」を選び「次へ」をクリックする**

「検索場所の指定」以外のチェックボックスは、チェックしないでください。
E:の部分はお使いのパソコンにより異なります。
CD-ROMを入れたドライブを選んでください。

7 **「次へ」をクリックする**

8 **「完了」をクリックする**

ヒント (Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional / XP共通)

- USBドライバがうまく自動的にインストールされない場合は、下記の方法でインストールできることがあります。

  方法1：本機およびパソコンの電源を一度切ってから、再度試してください。
  方法2：本機からDVD-RAMディスクやDVD-Rディスク、SDメモリーカードを取り出してから、再度試してください。
  方法3：本機の電源スイッチを「カード 静止画」に合わせて、再度パソコンに接続してください。
  方法4：お使いのパソコンの他のUSB端子に接続してください。

ソフトウェアのインストール

同梱のCD-ROMに入っているアプリケーションをインストールしましょう。

本機に同梱されているUDFドライバ（DVD-RAMドライバ）をインストールする前に、ご使用のパソコンにUDFドライバ（日立DVDカム「DZ-MV100」用のPC接続キット「DZ-WINPC1」「DZ-WINPC2」「DZ-WINPC2B」や日立DVDカム「DZ-MV250」「DZ-MV270」用PC編集キット「DZ-WINPC3」に同梱されているInstantWrite®）がインストールされていないか確認してください。
すでにインストールされている場合は、インストールされているUDFドライバをアンインストールしたあとで、同梱のCD-ROMに入っているUDFドライバをインストールしてください。UDFドライバのアンインストールは「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」、または「アプリケーションの追加と削除」から行なってください。
アンインストールの途中で、「このファイルは他のアプリケーションで使っていませんが、一緒に削除しますか？」という主旨のメッセージが表示された場合には、すべて「いいえ」をクリックしてください。

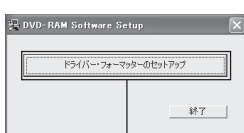
UDFドライバ（DVD-RAMドライバ）のインストール

本機に入っているディスクを、パソコンで利用するのに必要です。
ここでの説明はWindows® XPの画面で説明していますが、Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professionalでも同様の手順でインストールしてください。

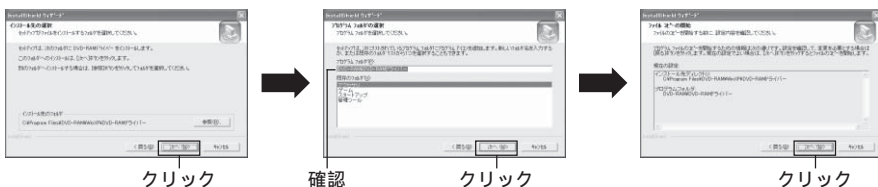
1 CD-ROM内の「UDF」フォルダを開き、「setup」または「setup.exe」を起動する

2 ドライバセットアップ画面が表示されるので、「ドライバー・フォーマッターのセットアップ」ボタンをクリックする

3 「次へ」をクリックする

4 使用契約許諾の内容をご確認の上、「はい」ボタンをクリックする
画面に表示される契約の内容は図と異なる場合があります。

5 インストール先のフォルダを確認し、「次へ」をクリックする

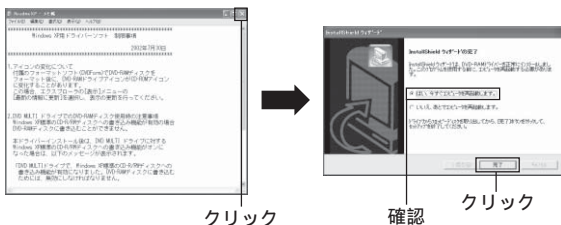
6 インストールされるプログラムフォルダを確認し、「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

8 インストールが開始され、完了すると注意書きが表示されるので、内容をご確認の上、ウインドウ右上の「×」をクリックする

画面に表示される内容は下図と異なる場合があります。

9 Windows® XP / 98 Second Edition / Me をお使いの場合は、再起動を促すメッセージが表示されるので、「完了」をクリックしてパソコンを再起動する

以上で UDF ドライバのインストールが完了です。

Windows® 2000 Professional をお使いの場合は 10 へ進んでください。

10 Windows® 2000 Professionalをお使いの場合は、デバイスの検出を開始する旨のメッセージが表示されるので、「完了」ボタンをクリックしてデバイスの検出を開始する

デバイスの検出は数分かかる場合があります。デバイスの検出が完了すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

以上で UDF ドライバのインストールが完了です。

DVD-MovieAlbumSE のインストール

「DVD-MovieAlbumSE」とは、DVD-RAM に録画された DVD ビデオレコーディング規格の動画や静止画を編集するソフトです。

1 **同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

2 **Windows® のマイコンピュータまたはエクスプローラで CD-ROM が入っているドライブを開く**

3 **「DVDMASE3」フォルダを開いて「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックする**

4 **「DVD-MovieAlbum」のインストール画面が表示されるので、「次へ」をクリックする**

5 **ソフトウェア使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「はい」をクリックする**

6 **インストール先のフォルダに変更がなければ「次へ」をクリックする**

7 **プログラムフォルダ名に変更がなければ「次へ」をクリックする**

8 **内容を確認して「次へ」をクリックする**
インストールが始まります。
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

9 **ショートカットアイコンをデスクトップ画面上に作成するか確認メッセージが表示されるので、作成する場合は「はい」をクリックする**
作成しない場合は「いいえ」を選んでください。

10 **再起動オプションを選択し、「完了」をクリックする**

ソフトウェアのインストール

MyDVD のインストール

DVD-MovieAlbum で編集した映像を DVD-R ディスクに書き込むためのソフトです。

1 **同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する**

2 **Windows® のマイコンピュータまたはエクスプローラで CD-ROM が入っているドライブを開く**

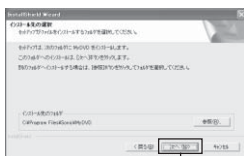
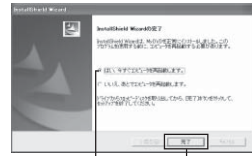
3 **MyDVD フォルダを開いて、「Setup」または「Setup.exe」をダブルクリックする**

4 **MyDVD のインストール画面が表示されるので「次へ」をクリックする**

5 **ソフトウエア使用許諾契約をよくお読みいただき、同意いただく場合は「はい」をクリックする**

6 **インストール先のフォルダに変更がなければ、「次へ」をクリックする**

7 **内容を確認して、「次へ」をクリックする**

インストールが始まります。

8 「完了」をクリックして、パソコンを再起動する

MyDVDの開発元であるソニック・ソルーションズ社では、お客様に適切なサポートを提供するために、MyDVD のユーザ登録をお勧めしております。
ユーザ登録は MyDVD の初回起動時に画面上にご案内が表示されるほか、以下の URL からいつでも行なっていただけます。

http://www.sonicjapan.co.jp/mydvd/
（ユーザ登録には、インターネットへの接続環境が必要です。）

- コンピュータウィルスを検知するソフトウェアなどが常駐している場合は、そのソフトウェアを無効にしてください。
- Windows® XP/2000 Professional をお使いの場合、ユーザー名を「Administrator（コンピュータの管理者）」（もしくは同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンしてからインストールしてください（権限がない場合はシステム管理者にご相談ください）。

MyDVD についてのお問い合わせは（国内）

ソニック DVD サポートセンター

URL:　http://www.sonicjapan.co.jp/support/
E メール:　dvdsupport@sonicjapan.co.jp
電話:　03-5232-5065
受付時間:　土日、祝祭日、年末・年始および特別行事日を除く
10:00～12:00 および 13:00～17:00

パソコンと接続するときの注意事項

パソコンと本機を接続する場合、電源はACアダプター／チャージャーをご利用ください

バッテリーでもご使用できますが、転送中に本機の電源が切れると、お客様の貴重な録画内容が失われたり、DVD-R ディスクに書き込み中の場合は、その DVD-R ディスクが使用できなくなります。

パソコンから本機のディスクにアクセス中はケーブル類の抜き差しはしないでください

- アクセス／ PC 接続ランプや、カードアクセスランプが点滅しているときに PC 接続ケーブル（同梱）や電源コードを抜き差しすると、お客様の貴重な録画内容が失われる原因となり、DVD-Rディスクに書き込み中の場合は、そのDVD-Rディスクが使用できなくなります。
- パソコンと本機を接続するときは、PC 接続ケーブル以外のケーブルは外しておくことをおすすめします。

パソコンと本機を接続しての動作は、約30℃以下の環境で約30分を目安に行なってください

- DVD-MovieAlbumSEに付属のVRコピーツールを利用しての書き込みは、連続使用で 30 分以下を目安に行なってください。
- 本機が高温になると、本機側での読み取りや書き込みに支障が出る場合があります。特に DVD-R ディスクに書き込み中にエラーが発生しますと、そのディスクは使用できなくなります。
  本機が高温にならないよう、ご注意ください。

本機で設定したフェード設定およびスキップ設定は、DVD-MovieAlbumSEには反映されません。また、DVD-MovieAlbum コピーツールでもコピーされません

本機でDVD-RAMに記録されたJPEG静止画は、DVD-MovieAlbumコピーツールではコピーされません

DVD-MovieAlbumSE でプロテクト設定した DVD-RAM ディスクは、本機ではプロテクト解除できません。プロテクトの解除にはDVD-MovieAlbumSEをご使用ください

USBハブを経由した接続や、パソコンのフロントパネルやキーボードにあるUSB端子に本機を接続した場合、パソコンから本機が認識されないなどの現象が発生することがあります。その際は、パソコンのリアパネルの USB 端子に接続してご使用ください

本機の電源が「切」のときはパソコンへの接続モードは動作しません

次のようなときはパソコンへの接続モードを使用するときに一度PC接続ケーブルを抜いて差し直す必要があります

・ 接続したまま、パソコンをサスペンド状態にしたとき

パソコンと接続中は本機で次の操作はできません

・ 本機の操作ボタンによるカメラの操作
・ 本機のディスク取り出しボタンでのディスクの取り出し
・ 電源スイッチによる電源切

本機に入っているディスクやSDメモリーカードはパソコンの操作で取り出すことができます

・ 本機の電源を切ったり接続を外したりしなくても、ディスクやSDメモリーカードを入れ替えることができます。

●ディスクを取り出す場合

Windows® のエクスプローラで、本機のドライブアイコンを選ぶ
→ マウスの右ボタンをクリックする
→ [取り出し]を選ぶ
→ 本機のディスク挿入部のふたが開きます。
別のディスクを入れて閉じると、ディスクの認識をします。

● SD メモリーカードを取り出す場合

SDメモリーカードがパソコンのソフトウェアからアクセスされていないことを確認し、更に本機のカードアクセスランプ（☞P.17）が点灯または点滅していないことを確認して、SDメモリーカードを本機より取り外します。
SDメモリーカードにパソコンからファイルの書き込みを行なったあとは、しばらくの間、カードアクセスランプが点灯または点滅していることがありますので、カードアクセスランプが消灯するまでお待ちください。最大数分間かかる場合があります。

動画ファイルについて

動画ファイルはディスクの傷や汚れ、記録再生環境などにより、エラーが生じる場合があります。このエラーにより、動画ファイルをコピーしたときに、ブロックノイズや画面の一時停止、音声途切れ、音声ノイズ、音声ずれが発生することがあります。動画ファイルをパソコンから操作する場合は、DVD-MovieAlbumSE またはDVD-MovieAlbum コピーツールをお使いください。

パソコンで表示されるフォルダについて

USBデバイスドライバをインストールしたパソコンに本機を接続すると、本機はパソコンの外付けドライブとして認識されます。

お使いになっているディスクやカードにより、下記のようなフォルダが表示されます。静止画(JPEG)を活用するアプリケーションソフトをご使用のときは、[100HPNX1]フォルダ内のファイルを使用してください。JPEGの静止画は、エクスプローラを使ってパソコンのハードディスクにコピーすることができます。

本機でDVD-RAMディスクに記録した動画（DVDビデオレコーディング規格）のデータを、パソコンのハードディスクを使って別のDVD-RAMディスクにコピーするときは、DVD-MovieAlbumSEに付属のDVD-MovieAlbumコピーツールをお使いください（エクスプローラを使ってコピーすると正しくコピーされないことがあります）。DVD-MovieAlbumコピーツールの使い方は、DVD-MovieAlbumSEのオンラインマニュアル（☞ P.140）を参照してください。

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

「DCIM」→「100HPNX1」フォルダ：JPEG形式の静止画（HPNX0001.JPGなど）が記録されています。JPEG画像対応の画像ソフトで開くことができます。

「DVD_RTAV」フォルダ：DVD-ビデオレコーディング形式の動画が記録されています。

「RTR_EXTN」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

ご注意
- パソコンで、絶対に削除や移動、フォルダ名等の変更をしないでください。

● DVD-R ディスクをお使いの場合

パソコンに転送する場合は、ファイナライズしたディスクをお使いください。ファイナライズしていないディスクは、認識できません。

「DVDCAM」フォルダ：本機が独自に使用する管理ファイルが記録されています。

「VIDEO_TS」フォルダ：DVD-ビデオフォーマット形式の動画が記録されています。

● SD メモリーカード、マルチメディアカードをお使いの場合

「DCIM」→「100*HPNX1」フォルダ：JPEG 形式の静止画（HPNX0001.JPG など）が記録されています。JPEG 画像対応の画像ソフトで開くことができます。

「MISC」フォルダ：静止画に設定している DPOF データのファイルが記録されています。

＊ 他のDCF対応機器で記録されている場合は、数字が変更になることがあります。

- 元のディスクやカードは、バックアップとして大事に保管しておいてください。
- 本機をパソコンの USB1.1 端子に接続した場合、データの転送速度は USB2.0 端子に接続した場合より遅くなります。
- 8cmDVD-RAMディスクの出荷時のボリューム名は、ディスクメーカー固有の表示となっています。本機で初期化した場合のボリューム名はパソコン上で "Dvd_camera" と表示されます（P.155 と上記のエクスプローラの画面に表示されているボリューム名は一例です。変更になることがあります）。

記録した静止画を活用する

DVD-RAMディスクやSDメモリーカードの[DCIM]－[100HPNX1]フォルダ内に記録されている JPEG ファイルをご使用ください。
画像サイズ：DZ-M5000V5 → 640 × 480 画素
　　　　　　DZ-M7000V5 → 1,280 × 960 画素
JPEG 画像に対応したアプリケーションでお楽しみください。

パソコンで動画を見る

● DVD-RAM ディスクをお使いの場合

動画は DVD ビデオレコーディング（DVD-VR）規格に準じて記録されています。
再生する場合は、同梱の CD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」か、市販の DVD ビデオレコーディング（DVD-VR）規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

● DVD-R ディスクをお使いの場合

動画は DVD ビデオ規格に準じて記録されています。
再生する場合は、DVD ビデオ規格に対応したアプリケーションソフトをお使いください。

パソコンで編集する

同梱の CD-ROM に納められている「DVD-MovieAlbumSE」を使うと、パソコンで動画の編集ができます。また「MyDVD」を使うと、編集した画像を DVD ビデオにすることができます。それぞれのインストール方法は P.150 と P.151 をご覧ください。

ディスクを直接パソコンで使用する

使用するディスクに合ったパソコンをお持ちの場合は､ディスクを丸型ホルダーから取り出して、直接パソコンで使用することができます。
丸型ホルダーからの取り出しかたは、P.72の「丸型ホルダーからのディスクの出し入れ」をご覧ください。

● DVD-RAMディスクを使う

下記の条件を満たすパソコンで使用できます。

・ 4.7GBのDVD-RAMディスク対応
・ 8cmディスク対応のDVD-RAM（RAM/R）ドライブ付きUDF2.01ファイルシステム入り

● DVD-Rディスクを使う

下記のいずれかのドライブが付いているパソコンで使用できます。

・ 8cmディスク対応のDVD-ROMドライブ（読み込み専用）
・ 8cmディスク対応のDVD-RAM（RAM/R）ドライブ
・ 8cmディスク対応のDVD-R/RWドライブ

- パソコンで編集した映像を、ディスクやカードに書き込むことができます。

ご注意

- パソコンで編集した映像を新しいDVD-Rディスクに書き込む場合は、ディスクを本機で初期化しないでください。
- 縦置きやスロットインタイプのパソコン用ドライブの中には8cmディスクが使用できないものがあります。
- 8cm CDを12cmの直径に変換するアダプタ（8cm CD用）は8cm DVD-RAMディスクや8cm DVD-Rディスクには使用できません。
- 本機で撮影したDVD-Rディスクをパソコンで利用する場合は、ディスクを本機でファイナライズしてください（☞ P.133）。
- ご使用のDVD-ROMドライブによっては、本機のDVD-Rディスクが読み込めない場合があります。

パソコンと接続する

ＰＣ接続の終了（PC 接続ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り換える前に

Windows® XP / 98 Second Edition をお使いの場合は「ドライブの停止」操作を行なう必要はありません。

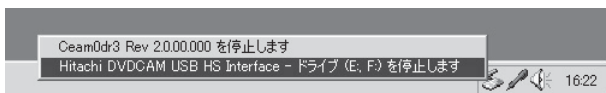
1 **Windows® Me / 2000 Professional では、PC 接続ケーブルをパソコンから抜く、またはPC接続ケーブルを抜かずに電源スイッチのディスクモードとカードモードを切り換える場合は、まず「ドライブの停止」操作を行なう**

2 **アプリケーションを終了し、本機のアクセスランプが緑色に点灯をしていることを確認し、PC 接続ケーブルを抜く**

3 **ドライブの停止を行うには、まずアプリケーションを終了し、Windows 画面の右下のタスクトレイから、「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックする**

「ハードウェアの取り外し」アイコン

4 **Windows® 2000 Professional では、「Hitachi DVDCAM USB HS Interface」を選択する**

ドライブ名（E:、F:など）はお使いのパソコンにより異なります。

5 **Windows® Me では、「USB CD-ROM」を選択する**

ドライブ名（G:、F:など）はお使いのパソコンにより異なります。

6 **「ハードウェアの取り外し」が可能である旨のメッセージが表示される**

PC接続ケーブルの取り外しや電源スイッチを切り換えたりすることができます。

＊「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう場合は、Windows® を一旦終了してから取り外してください。Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、Windows® 2000 サービスパック 3 以降をインストールすると解決される場合があります。Windows® 2000 サービスパック 3 の入手方法につきましては、お使いのパソコンの製造元、またはマイクロソフト社にお問い合わせください。

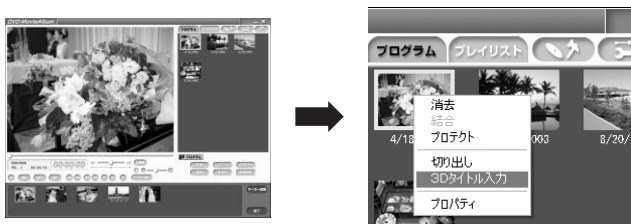
DVD-MovieAlbumSE、MyDVDの使いかた

ここでは、基本的な操作の説明をします。
詳細につきましては、オンラインマニュアル * をご覧ください。

＊ オンラインマニュアル .... ソフトウェアをインストールしたときに一緒にインストールされます。
[スタート]→[プログラム]または[すべてのプログラム]→[Hitachi DVDCAM]
→[DVD-MovieAlbumSE][オンラインマニュアル]をご覧ください。
オンラインマニュアルを開くには、Adobe® Acrobat Readerが必要です。
Acrobat Readerのインストーラは、同梱のCD-ROM「Acrobat Reader」フォルダに入っています。

1 編集したい DVD-RAM ディスクが入った本機をパソコンに USB 接続する

2 DVD-MovieAlbumSE を起動する

DVD-RAM ディスクに記録されている内容が表示されます。
この画面で、シーンのカットや並び替え、プレイリストの作成ができます。

DVD-MovieAlbumSE 起動時に「ドライブ X ：のディスクは DVD-MovieAlbumSEでは使用できません。」と表示されたり、DVD-RAMに録画されている内容が表示されない場合は、「環境設定」→「デバイス設定」→「ドライブ設定」で編集するDVD-RAMディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。

3 プログラムの先頭でマウスを右クリックし、[3D タイトル入力]を選択する

プログラムの先頭に 3D タイトルを付けることができます。

● 3Dタイトル作成画面（3D-Title STUDIO）が起動します。

ヒント

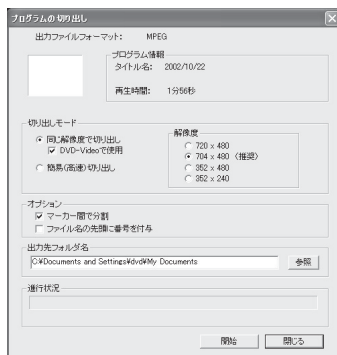
- 任意の位置に 3D タイトルを付けるには、その位置でプログラムを分割します。
- 付けた 3D タイトルは、本機では 1 シーンとして扱われます。それに続くシーンと結合する場合には、DVD-MovieAlbumSE を使って 3D タイトルに続くシーンのマーカーを削除するか、本機のディスクナビゲーション機能を使って3Dタイトルとそれに続くシーンを選択して結合してください（☞ P.105）。
- 3D タイトルを付けるには、DVD-RAM ディスクに数十秒分の空きが必要です。
- MyDVDでは静止画ファイルを使用して「スライドショー」を作成できますが、本機では再生できません。
- MyDVD ではパソコン上の MPEG ファイルから DVD ビデオを作成できますが、本機では再生できない場合があります。

●カメラで撮影したDVD-RAMディスクからパソコンでDVDビデオを作成するには

DVD ビデオカメラで撮影した映像を DVD-MovieAlbumSE と MyDVD を使って、DVD ビデオ(DVD-R ディスク)を作成することができます。

4 **DVD-MovieAlbumSE の画面から DVD ビデオにしたいプログラムのサムネイルを選択し、マウスを右クリックして「切り出し」を実行する**

5 **右図のようなプログラムの切り出し画面が表示されるので、「切り出しモード」の設定で「同じ解像度で切り出し」「DVD-Videoで使用」を選択する**

「解像度」は「704x480(推奨)」を選択してください。

「プログラムの切り出し」画面

ヒント

- 「オプション」の「マーカー間で分割」を選択すると、DVDビデオカメラで撮影されたプログラムの各シーンがそれぞれ独立した動画ファイルとして保存され、切り出しは高速に行われます。
  「マーカー間で分割」を選択しないと、動画ファイルは１本に結合され、再エンコードされることがあるため、切り出しに時間がかかったり、画質がわずかに劣化することがあります。
  また、XTRA モードで記録された動画で、動きの激しいシーン(8Mbps 以上)については、「マーカー間で分割」の設定に関わらず、自動的に再エンコードすることがあります。
- 「簡易（高速）切り出し」を選択すると、読み込みが途中で止まることがありますので選択しないでください。

6 **「開始」ボタンをクリックする**

切り出しを開始します。

7 **切り出しが終了したら、「書き出しが正常に終了しました。書き出したデータを使って「DVD-Video」や「MPEG ファイル」のディスクを作成しますか？」と表示されるので、「使用中のディスクを取り出す」チェックボックスをチェックして、「はい」をクリックする**

8 **ディスクがイジェクトされるので、未記録のDVD-Rディスクを本機にセットする また、DVD-MovieAlbumが自動的に終了し、「ディスクへの書き出し」画面が表示されるので、「開始」ボタンをクリックする**

9 MyDVD が自動的に起動し、少し待つとMyDVDの編集画面に書き出したシーンが自動的に登録される

ここでDVDメニューをお好みのスタイルに変更したり、タイトルを変更したりできます。

10 「書き込み」ボタンをクリックする

DVD-Rディスクへの書き込みが始まります。書き込みが終了すると、DVDビデオディスクが完成します。
そのあと、DVDビデオカメラのディスクカバーが自動で開きます。

MyDVDの編集画面

- DVDビデオカメラでは、MyDVDで作成したメニュー画面は表示されません。
  また、書き込む内容によっては、DVDビデオカメラでは正常に再生できない場合があります。
  そのような場合は、一般的なDVDプレーヤーをお使いください。

MyDVDから8cm DVD-Rディスクに記録できる時間は以下の表のようになります。8cm DVD-RAMディスクより記録時間が短くなるのは、MyDVDがLPCM方式で音声を記録するためです。

DVDカムでの録画画質モード	8cm DVD-Rディスクへの記録可能時間(MyDVDを使用)
STD	約40分
FINE	約25分
XTRA	約18分以上

MyDVDで作成される「スタイル」が動画の場合やサムネールが多い場合は、記録可能時間は上記時間より短くなります。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンにインストールした同梱のソフトウェアをアンインストール（削除）する場合は、以下の手順に従ってください。

USB デバイスドライバのアンインストール

[Windows® 98 Second Edition / Me の場合]

1 本機の電源を「🎥 動画」に合わせて、PC 接続ケーブルでパソコンと接続する

2 コントロールパネルの「システム」を開き、「デバイスマネージャ」タブを選択する

3 「CD-ROM」の中にある「HITACHI DVD-RAM DZ-MV3」を削除する
ファイルが存在しない場合は次へ進んでください。

4 「ディスクドライブ」の中にある「HITACHI DVD-RAM DZ-MV3」を削除する
ファイルが存在しない場合は次へ進んでください。

5 「ユニバーサル　シリアル　バス　コントローラ」の中にある下記の項目を削除する
「Hitachi DVDCAM USB HS Interface」
「USB Mass Storage Device For DVDCAM」
項目が存在しない場合は次へ進んでください。

6 デバイスマネージャを閉じる
再起動のメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

7 下記のファイルを削除する
Windows® 98 Second Editionの場合 ..... C:\WINDOWS\INF\OTHER\Hitachi Ltd.DZ3298
Windows® Meの場合 .... C:\WINDOWS\INF\OTHER\Hitachi Ltd.DZ32ME
INF フォルダが見当たらない場合は、エクスプローラの「表示」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの中の「すべてのファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックしてから再度試してください。

8 本機とパソコンの接続を取り外し、パソコンを再起動する

[Windows® 2000 Professional / XP の場合]

1 **本機の電源を「🎥 動画」に合わせて、PC 接続ケーブルでパソコンと接続する**

2 **コントロールパネルの「システム」を開き、「ハードウェア」タブの中の「デバイスマネージャ」をクリックする**

3 **「DVD/CD-ROM」の中にある「Hitachi DVD-RAM DZ-MV3 USB Device」を削除する**

4 **Windows® 2000 Professional をお使いの場合は、「ディスクドライブ」の中の「HITACHI DVD-RAM DZ-MV3 USB Device」を削除する**
Windows® XP をお使いの場合とファイルが見つからない場合は、次へ進んでください。

5 **「ユニバーサル　シリアル　バス　コントローラ」の中にある「Hitachi DVDCAM USB HS Interface」を削除する**
項目が見つからない場合は、次へ進んでください。

6 **デバイスマネージャを閉じる**
再起動のメッセージが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

7 **Windows® 2000 Professionalをお使いの場合 ..... C:\WINNT\INF フォルダを開く**
Windows® XP をお使いの場合 .... C:\WINDOWS\INF フォルダを開く
INFフォルダが見つからない場合は、エクスプローラの「ツール」メニュー→「フォルダオプション」→「表示」タブの中の「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して「OK」をクリックしてから再度試してください。

8 **oem*.inf ファイル(「*」は数字)を「*」の数字が大きい順に Windows® に添付のアプリケーションソフト「メモ帳」で開き、ファイルの２行目および３行目に下記の記載があるファイルを探し、削除する**

```
; Hitachi DVDCAM USB Driver Installation File
; Support OS : Windows® 2000 Professional and Windows® XP
```

パソコンの設定によっては、拡張子「.inf」が表示されない場合があります。

9 **手順 8 で削除したファイルと同じ番号の入った oem*.PNF ファイルも削除する**

10 **本機とパソコンの接続を外し、パソコンを再起動する**

ソフトウェアのアンインストール

その他のアプリケーションの削除

その他のアプリケーションのアンインストールは、「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開き、表示されたアプリケーション一覧から該当項目を選択して「変更 / 削除」ボタンをクリックしてください。

- ソフトウェアをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動させてください。

本機とパソコンを接続してお使いになる際のご注意

- Windows® アプリケーションから本機で撮影した、DVD-R ディスクのファイナライズを行なわないでください。本機で認識されなくなります。
- Windows® からDVD-RAMディスクのフォーマットを行なう場合は、UDF2.01（選択できなければ 2.0）フォーマットで行なってください。他の規格でフォーマットすると、本機の誤動作の原因になります。
- 静止画を加工、編集する場合は、「100HPNX1 フォルダ」の JPEG ファイルをパソコンのハードディスクにコピーしてから行なってください。
- パソコンから本機のDVD-RAMディスク内に一般のパソコンのデータを書き込むことができますが、動作保証はいたしません。
- 本機に付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して本機にデータを読み書きできることがありますが、動作保証はいたしません。
- 本機をパソコンに接続したままパソコンをサスペンド（またはスリープやスタンバイ）から起動した場合は、本機を認識できないことがあります。この場合は一度パソコンとの接続を外し、パソコンを再起動させてください。
- パソコンに 2 台以上の DVD ビデオカメラを同時に接続することはできません。

同梱ソフトウエアの互換性について

本機の同梱のソフトウェアをDVDビデオカメラの以前のモデルでご使用になる場合の互換性は以下の通りです。なお、本機に同梱のソフトウェアはオプションキット等で別売されておりません。

		DZ-MV100 (1999年発売)	DZ-MV250 (2002年発売)	DZ-MV270 (2002年発売)
本機に同梱のソフトウェア	USBドライバ	使用できません (PC接続キットDZ-WINPC1またはDZWINPC2に同梱のUSBドライバをご使用ください)。	使用できません (PC編集キットDZ-WINPC3に同梱のUSBドライバをご使用ください)。	使用できます (本機のUSBドライバで、DZ-MV270を認識させることができます)。
	UDFドライバ (DVD-RAMドライバ)	読み込み専用として利用可能です。書き込みは動作保証外となります。	DVDビデオレコーディングデータ以外のデータの読み書きに利用できますが、一部制限がございます（注1）。	
	DVD-MovieAlbumSE	DVDビデオレコーディング規格のDVD-RAMディスクの再生のみ可能です。 書き込みはできません。 3D-TitleSTUDIOはご利用になれません。		
	MyDVD	使用できません。	動作保証外になります。	

注１： DVD-RAMカートリッジのライトプロテクトタブを「消去不可(PROTECT)」の状態にして、Windows® 98 Second Edition / Meから、USB接続したDZ-MV100/DZ-MV250/DZ-MV270へ書き込みやフォーマットを行なっても、エラーは表示されず、作業が完了したように見えます。実際の書き込みやフォーマットは行なわれていません。また、ユーリードシステムズ社のDVD MovieWriterSE、VideoStudio5 SE VR、VideoStudio6 SE VRとの組み合わせは動作確認されておりません。

上記情報は2003年3月現在の情報です。内容は予告なく変更されることがあります。

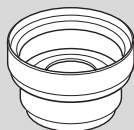
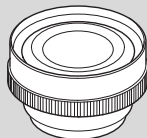
●以前のPC接続キット/PC編集キットとの互換性について

静止画用ＰＣ接続キットDZ-WINPC1、動画用ＰＣ接続キットDZ-WINPC2、DZ-WINPC2BはDVDビデオカメラDZ-MV100専用です。本機での動作保証はいたしません。

ＰＣ編集キットDZ-WINPC3は、DVDビデオカメラDZ-MV250/DZ-MV270専用です。本機での動作保証はいたしません。

別売品の紹介

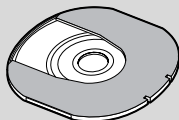
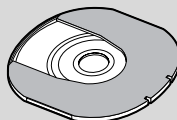
カメラアクセサリー

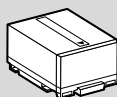
ワイドコンバージョンレンズ（DZ-WL1）＊

テレコンバージョンレンズ（DZ-TL1）＊

ビデオフラッシュ（DZ-FLH3）＊

・別売のアクセサリーをご使用になるときは、各アクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

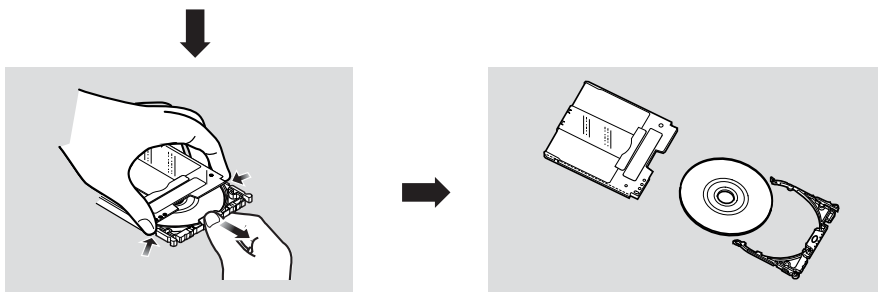
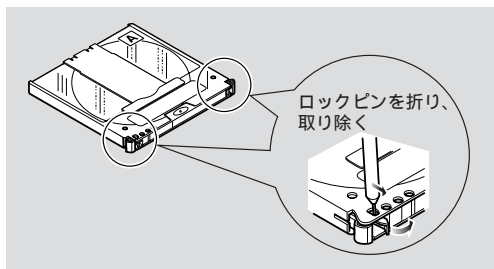
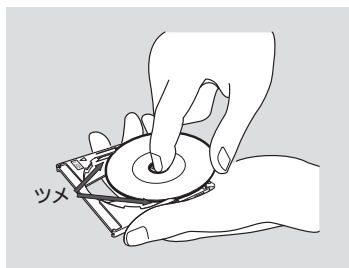
＊：DZ-M5000V5 では、使用することができません

ディスク

8cm DVD-RAM ディスク 両面（DRMH60.1P）（日立マクセル製）

8cm DVD-R ディスク 片面（DRH30.1P）（日立マクセル製）

電　源

バッテリーパック（DZ-BP14SJ）7.2V ／ 1360mAh

角型アダプタのディスクについて

本機では8cmDVD-RAMディスク（DRMS-V28R.1P）や8cmDVD-Rディスク（DR30.1P）などの四角いカートリッジや四角いキャディーケースをお使いになることはできません。
一度四角いカートリッジや四角いキャディーケースからディスクを取り出して、丸型ホルダーにセットしてからお使いください。
詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。

●四角いカートリッジからディスクを取り出す

●四角いキャディーケースからディスクを取り出す

ツメに引っかからないように、ディスクをななめ上へスライドさせるように取る

ヒント

- 取り出したディスクを本機で使える丸型ホルダーに正しくセットしたい（☞ P.73）。

お手入れのしかた

本機のお手入れをするときは、必ず電源を切ってください。

液晶モニターやカメラ部のレンズの汚れは

乾いた柔らかい布などでふき取ってください。液晶モニターをふくときには、強く押したり、ひっかいたり、衝撃を与えないようご注意ください。傷ができたり、表示ムラができることがあります。液晶モニターが壊れるおそれもあります。

本体ケースをベンジンやシンナーでふかない

本体ケースの塗装がはげたり、変色することがあります。本体ケースの汚れは、固く絞った布などでふき取ってください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

ビューファインダーのレンズにゴミが付着したときは

綿棒などでふき取ってください。強くこすると傷ができるおそれがあります。

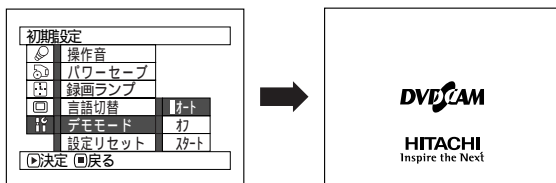
デモンストレーションの設定を変える

本機にはデモンストレーションが搭載されています。
お買い上げ時は「オート」に設定されていて、本機の電源を入れると約 3 分後に自動的にデモンストレーションが始まります。
デモンストレーションをすぐに見たいときや、設定を「オフ」にしたいときは、下記の手順で設定を変えてください。

1 メニューボタンを押す

2 「初期設定」→「デモモード」を選び、決定する

3 ジョイスティックで設定したい項目を選び、決定する

オート　：電源を入れると約 3 分後にデモンストレーションが始まります。
オフ　　：デモンストレーションの設定を「オフ」にします。
スタート：デモンストレーションがすぐに始まります。
「メニュー」ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。
途中でやめる場合は □（停止／キャンセル）ボタンを押してください。
電源を切ったり、「ディスク取出し」ボタンを押してもデモモードは終了します。

- デモモードを途中でやめる場合、「ディスクナビゲーション」ボタンを押しても終了しますが、ディスクナビゲーションの画面が表示されます（☞ P.93）。
- デモンストレーションが機能しているあいだ、録画ランプが点滅します。

- パソコンと接続しているときは、デモンストレーション機能は働きません。
- 「オート」に設定していても、本機の電源スイッチが「動画」または「静止画」でディスクが入っている場合や「カード 静止画」でカードが入っている場合もデモンストレーションは始まりません。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いいただけます。付属のACアダプター／チャージャーはAC100～240V・50／60Hzの電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、コンセントの形状に合った市販の変換プラグアダプターをお求めのうえ、お使いください。各国のコンセントの形状については、旅行代理店などでおたずねください。

●コンセントの形状と変換プラグの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	主に北米・南米・グアム・サイパン		イギリスなど	主にヨーロッパ	主にオーストラリア
変換プラグ	不要です。そのままコンセントに差し込んでください。				

●テレビについて

再生映像をテレビに接続してご覧になる際は、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）で、映像・音声入力端子付きのテレビであれば、付属のAV／S入出力ケーブルを使って見ることができます。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC方式）を採用している国または地域（五十音順）

・アメリカ合衆国　・キューバ　・コロンビア　・チリ　・ハイチ　・パナマ　・ベネズエラ　・ミャンマー
・エクアドル　・グアテマラ　・スリナム　・ドミニカ　・バハマ　・フィリピン　・ペルー　・メキシコ
・エルサルバドル　・グアム　・大韓民国　・トリニダードトバゴ　・バミューダ　・プエルトリコ　・ホンジュラス
・カナダ　・コスタリカ　・台湾　・ニカラグア　・バルバドス　・米領サモア　・ボリビア

- 本機は国内仕様です。付属の保証書は国内のみ有効です。万一海外で故障や不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用の補償については、ご容赦ください。
- NTSC方式以外のTV方式は外部入力による録画はできません。

操作ができない－チェックしてみましょう

チェック 1	動画が撮影できない

動画は、DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。
- DVD-RAM ディスクまたは DVD-R ディスクが入っていますか？
- 電源スイッチは「動画」に合わせてありますか？
- DVD-RAMディスクをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか？
  解除してください（☞ P.130）
- 残量がありますか？

それでも撮影できない場合は、ディスクが壊れている可能性があります。
別のディスクをお使いください。

チェック 2	静止画が撮影できない

静止画は、DVD-RAM ディスクまたは SD メモリーカード、マルチメディアカードにのみ記録可能です。
次のことを確認してください。
- DVD-RAMディスクまたはSDメモリーカードまたはマルチメディアカードが入っていますか？
- 電源スイッチは記録メディアに応じたところに合わせてありますか？
  - DVD-RAM ディスクをお使いの場合
    「静止画」に合わせてください。
  - SD メモリーカードまたはマルチメディアカードをお使いの場合
    「カード 静止画」に合わせてください。
- DVD-RAMディスクをお使いの場合、ディスクプロテクトされていませんか？
  解除してください（☞ P.130）
- SD メモリーカードをお使いの場合、ロックされていませんか？
- 残量がありますか？

それでも撮影できない場合は、ディスクやカードが壊れている可能性があります。
別のディスクやカードをお使いください。

チェック 3	スキップ再生やサーチ再生がうまくいかない

本機の内部が高温になると正常に動作しないことがあります。一度電源を切り、しばらく待ってから再度電源を入れて操作してください。

チェック 4	・本機のアクセス /PC 接続ランプがいつまでも点灯または点滅していて、操作ができない ・ディスクを入れてから撮影できるようになるまで、時間がかかる

以下のような場合は、操作ができるようになるまで通常より時間がかかります。

- ディスクを入れ直したとき
- 日付が変わったとき(一日の最初の記録時)
- 前回撮影した状態から気温が大きく変わったとき
- 傷・汚れ・指紋のあるディスクを入れたとき
- 激しい振動が加えられたとき
- 電源スイッチで電源を切らずに、いきなりバッテリーや DC パワーコードを外したとき

チェック 5	カメラが動作しない

十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてありますか？
または、コンセントから電源がとってありますか？

チェック 6	ビューファインダーに映像が映らない

液晶モニターが開いていませんか？
液晶モニターが本機にしっかりロックされるまで閉じていないと、ビューファインダーに映像は映りません。

チェック 7	液晶モニターに映像が映らない

- PC 接続ケーブルでパソコンと接続していませんか？
  PC 接続ケーブルを抜いてください。
- ワイプアウトを設定して再生したシーンの最後で停止していませんか？
  ディスクナビゲーションボタンを押してください。

メッセージが表示されたら

操作の途中でメッセージが表示されることがあります。
メッセージが表示されたときには、その内容に応じて、適切に対処してください。
P.175 からのメッセージは 50 音順に記載してあります。

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
① 映像ファイルの一部にエラーを検出しました。修復を行いますか？ ② 映像ファイルにエラーを検出しました。修復を行いますか？ ③ 映像ファイルの一部修復に失敗しました。全修復を行ないますか？	映像記録中や編集（シーン削除・シーン分割・結合・プレイリスト作成など）中に誤って電源を切るなどして、システムがファイル書き込み処理を正常に終了できなかった可能性があります。 「はい」を選択すると、自動的に映像ファイルの修復を行ないます。「いいえ」を選択しても、次に電源を入れたときに再び同様なメッセージが表示されます（ディスク認識中にディスクは取り出さないでください。ファイル修復機能が働きません）。 画面の指示に従ってください。このときに以下のような注意事項があります。 ・電源を切られたタイミングによっては、修復できない場合があります。 ・他のレコーダーなどで記録されたデータが含まれると、正常に修復できない場合があります。 ・不具合箇所の一部削除などにより、修復されたデータは元の記録内容と異なる場合があります。 ・修復されたデータ（部分修復の場合は修正箇所のみ）については、修復実行時の日時情報が付加されるため、元の日時情報は失われます。 ・全動画→全静止画の順で修復が行なわれるため、記録内容の前後関係が失われる場合があります（メッセージ ②③ の場合のみ）。 ・P.179 注 1 参照。	—
① エラーが発生しました。電源を入れ直してください。 ② エラーが発生しました。ディスクを入れ直してください。 ③ エラーが発生しました。エラーコード XXXX 取扱説明書を確認してください。 ④ ERROR XXXX	エラーが発生しました。 下記の方法で対処してください。 ①電源を切り、バッテリーパックやACアダプター／チャージャーを付け直してから、もう一度電源を入れてください。 ②電源を切り、ディスクを入れ直してください。そのあと、もう一度電源を入れてください。 ③番号（XXXX）をお控えの上、お買い上げの販売店へご連絡ください。 P.179 注 3 参照。	34 37 38 13
① このディスクは初期化されていません。カメラで撮影するには初期化が必要です。 ② ただし、PC接続端子から記録する場合は初期化しないでください。 ③ 初期化しますか？	カメラ用に初期化されていないDVD-Rディスクを挿入したときに表示されます。	39
AC アダプター／チャージャーを使用してください。	バッテリーパックを使っていると、ファイナライズできません。AC アダプター／チャージャーをお使いください。	38 132
AC アダプター／チャージャーを使用してください。電源を切ってください。	バッテリーパックを使っていると、映像ファイルの修復はできません。 手元にACアダプター／チャージャーがない場合は、ディスクを取り出し、裏面または他のディスクをお使いください。取り出したディスクを修復するには、後で本機にディスクを挿入し、AC アダプター／チャージャーを接続してから行なえます。	38

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ＤＰＯＦが設定されているシーンがありません。	DPOF設定してないカードで、スライドショーの「DPOF」を選択したときに表示されます。	136
DVD-Rディスクの場合、一旦記録した後の動画画質の変更はできません。	DVD-Rディスクの場合、一度記録した後の動画モードの変更はできません。	27
いくつかの管理情報を追加できませんでした。	登録されているシーン数が登録可能な最大数に達しています。いくつかのシーンを結合するか、削除してください。	99 105
映像ファイルの修復に失敗しました。 ディスクを交換してください。	ディスクを交換してください。	—
映像ファイルの修復に失敗しました。ディスクを初期化するか、交換してください。	・修復しようとしているDVD-RAMディスクに異常が発生しました。ディスクを初期化してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、別のディスクをお使いください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.179注2参照。	131
カードエラーが発生しました。	・カードの端子が汚れている可能性があります。汚れを落としてからご利用になるか、別のカードをお使いください。 ・静止画像以外のデータが入っている可能性があります。別のカードをご利用ください。	26
カードエラーが発生しました。 カードを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にカードエラーが発生した可能性があります。 使用中のカードを本機に入れたまま電源を切り、ACアダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行ないます。	37
カードエラーが発生しました。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 初期化中に中断したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。	131
カードエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	カードが壊れている可能性があります。別のカードをご利用ください。	26
カードがありません。	カードを入れてください。	41
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	誤消去防止スイッチがロックされたカードが入っています。ロックを外してください。	26
カード残量がなくなりました。	これ以上の記録はできません。不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	28 99
カード残量がなくなります。	カードの残量が、静止画で残り10枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のカードをお使いください。	28 99
カード残量が不足しています。	不要な画像を削除するか、別のカードをご利用ください。	28 99
カード残量が不足しているため実行できません。	不要な画像を削除してからご利用になるか、別のカードをお使いください。	28 99
カードを入れてください。	カードが入っていません。カードを入れてください。	41
管理情報エラーが発生しました。	記録されている映像と、シーン情報の不整合が生じている可能性があります。管理情報更新を行なってください。	132
	・別のディスクをお使いください。 ・P.179注3参照。	72 73

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
記録データがありません。	１シーンも記録されていない状態で、再生などが押された場合に表示されます（ナビゲーションからの再生、編集を実行しようとした場合に表示され、カメラスルーで再生を押しても表示されません）。	—
記録はできません。	本機に入力されている映像信号にコピーガードがかかっている可能性があります。 映画などの映像ソフトには、コピー防止のためのガードがかかっているものがあります。このような映像は、本機で録画することはできません。	62
結合するシーンが複数選択されていません。 シーンを複数選択してから結合してください。	結合したいシーンを２シーン以上範囲選択してから結合してください。	105
このカードには記録できません。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	26
このカードは使用できません。 カードを交換してください。	本機で使用できないカードが入っています。別のカードをお使いください。	26
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	パソコンなどで初期化したカードではありませんか？ 本機で使用する場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。	131
このディスクには記録できません。	本機で使用できないディスクが入っているか、壊れている可能性があります。 ディスクの種類が正しいか確認してください。また、ディスクが書き込み禁止になっていないか確認してください。	24 130
このディスクはPAL方式で記録されています。ディスクを交換してください。	本機はNTSC方式で記録したディスクのみ使用できます。 PAL方式で記録されたディスクは使用できません。	—
このディスクは使用できません。 ディスクを交換してください。	本機で使用できないディスクが入っています。ディスクの種類が正しいか確認してください。	24
このディスクは初期化されていません。 初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.179注２参照。	131
削除できるシーンはありませんでした。	ディスクナビゲーションで複数のシーンを削除したとき、選択されているシーンがすべてロックされている場合に表示されます。削除を実行する場合にはロックを解除してください。	99 108
処理を中断しました。	複数のシーンを処理しているときに □（停止／キャンセル）ボタンを押して中断したときなどに表示されます。	—
シーンに関連したファイルが見つかりません。	本機以外の機器でDVD-RAMディスクに記録した静止画を、カードにコピーする場合に表示されます。	—
シーンを削除できません。	分割などの編集を行ったシーンを削除する際に起こる可能性があります。 分割したシーンを結合してから削除してください。	105
静止画の記録はできません。	DVD-Rディスクを使用していませんか？ DVD-Rディスクには静止画の記録はできません。 本機で静止画を記録する場合は、DVD-RAMディスクまたはカードをお使いください。	28
静止画のサムネイルは変更できません。	静止画のサムネイルを変更することはできません。 動画を選択してください。	101

メッセージが表示されたら

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
静止画は分割できません。	静止画の分割はできません。	106
設定可能なシーン数を超えました。 これ以上、設定できません。	DPOF 設定可能なシーン数は最大 999 シーンです。	109
選択可能なシーン数を超えました。 これ以上、選択できません。	選択可能なシーン数は最大 999 シーンです。	110
選択シーンが連続していないため、結合できません。	選択シーンが連続していないときシーンの結合はできません。	105
選択範囲に静止画が含まれているため結合できません。	動画のみを選択してから結合してください。	105
先頭では分割できません。	シーンの先頭と末尾では、分割できません。	106
末尾では分割できません。		
ディスクエラーが発生しました。	・別のディスクをお使いください。 ・P.179 注 3 参照。	72 73
	・本機以外の機器で編集して記録情報の不整合が生じている可能性があります。ディスクを初期化してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 ・初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。	131
ディスクエラーが発生しました。初期化しますか？	・パソコンなどで初期化したディスクではありませんか？初期化中に中断したディスクではありませんか？本機でこのディスクを使う場合は「はい」を選択して、初期化を行なってください。初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます。 ・P.179 注 2 参照。	131
ディスクエラーが発生しました。 初期化できませんでした。	ディスクが汚れているなどの可能性があります。ディスクを取り出し指紋やほこりなどを落としてからご利用になるか、別のディスクをお使いください。 また、初期化が途中で中断されたディスクを再度入れたときにも、表示されることがあります。このようなときは、別のディスクをお使いください。	73 131
ディスクエラーが発生しました。 ディスクを入れたまま電源を入れ直してください。	映像ファイル編集中にディスクエラーが発生した可能性があります。使用中のディスクを本機に入れたまま電源を切り、AC アダプター／チャージャーを接続後、再度電源を入れてください。映像ファイルの修復を行ないます。	37
ディスクエラーが発生しました。ファイナライズできませんでした。	・ファイナライズ中にディスクエラーが発生し、ファイナライズに失敗したときに表示されます。ディスクを交換してください。 ・P.179 注 3 参照。	72 73 133
ディスクが高温のため処理を継続できません。 しばらく間をおいてから実行してください。	本機内の温度が高温になっています。本機内の温度が高温になると正常にディスクへの書き込みやディスクからの読み込みができない可能性があります。電源を切って、しばらくお待ちください。	42
ディスクが初期化されていません。	・ディスクが初期化されていないか、壊れている可能性があります。 このメッセージが出たら、必ず本機で初期化してからお使いください。 それでも同じメッセージが表示される場合は、ディスクが壊れている可能性があります。別のディスクを使用してください。 本機で使用したディスクでも、再度初期化が必要になる場合もあります（初期化するとディスクに記録されている内容はすべて消去されます）。	131
	・P.179 注 2 参照。	72 73

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
ディスク残量がなくなりました。	ディスクがいっぱいになり、これ以上記録することはできません。	27
ディスク残量がなくなります。	ディスクの残量が、動画で 1 分以内、静止画で 10 枚未満になりました。 不要なシーンを削除するか、別のディスクをお使いください。	27 28 99
ディスク残量が不足しているため実行できません。	不要な映像を削除してからご利用になるか、別のディスクをお使いください。	99
ディスク内に管理情報がないシーンがあります。管理情報を追加しますか？	・本機以外の機器で編集されたディスクを使用したときに、表示される場合があります。この場合、確認画面で「はい」を選択してください。本機で再生可能な状態にし、正常にディスクナビゲーション画面を表示します。 ・本機で日付をまたがるシーン結合を行ったディスクを使用すると表示される場合があります。「はい」を選択すると結合したシーンを分割し、正常にディスクナビゲーション画面が表示されます。「いいえ」を選択すると結合したシーンを分割せずに正常にディスクナビゲーション画面を表示します。ただし、この場合、電源を入れるたびにこのメッセージが表示されます。	132
ディスクに保存中です。	撮影した映像をディスクに保存しています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。	47 49
ディスク認識中です。	正しいディスクが入っているか、本機がチェックしています。 メッセージが消えたら、使用を開始できます。日付が変わったときは、このメッセージが少し長く表示されます。	—
ディスクを入れてください。	本機、またはディスクを温度の低いところから温かいところへ移すと、カメラのレンズまたは本機の内部に露つきが発生してこのメッセージが表示されることがあります。 ディスクを入れたまま、電源を切った状態でなるべく乾燥した場所に1～2 時間以上、放置してください。	13
	ディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	38
動画はカードへコピーできません。	動画はカードへコピーできません。静止画を選択してからコピーを実行してください。	107
登録可能なシーン数を超えています。シーンを移動できません。	シーン数が登録可能な上限に達している場合で、シーンの並べ替えをしようとしたときに表示されます。	116
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを登録できません。	プレイリストに登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	116 121
登録可能なシーン数を超えています。 シーンを分割できません。	登録されているシーン数が登録可能な上限に達しています。別のシーンをいくつか削除してください。	106 116
登録可能なプレイリスト数を超えています。	すでにビデオレコーディング規格上限値まで登録済みの場合で、プレイリスト作成で新規もしくは編集が選ばれた場合に表示されます。	116
登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。	プレイリストのシーンがすべて削除されました。 規格上、シーンのないプレイリストを保持できていないので、登録シーンがすべて削除されたプレイリストは削除されます。	121 122
バッテリーが消耗しています。 交換してください。	充電したバッテリーに交換してください。 または、AC アダプター／チャージャーをご使用になり、コンセントから電源をとってください。	33 37

メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
表示分類が“ 全て ”の場合のみ実行可能です。	表示分類が動画／静止画のときに、シーンの結合や並べ替えを選んだ場合に表示されます。	134
ファイナライズが途中で中断された可能性があります。ファイナライズしますか？	ファイナライズ途中に停電などで電源が切れたあとに、電源投入・ディスク挿入をした場合に表示されます。 ファイナライズを行なう場合は「はい」を選び、再度ファイナライズを行なってください。	133
複数シーン選択時には実行できません。	複数シーン選択時に、分割や、サムネイル変更を実行した場合に表示されます。	96
プレイリストが登録されていません。	プレイリストが1つも登録されていない状態で、プレイリスト切替を選んだ場合に表示されます。	118
プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？	シーン削除の際に表示されます。 ディスク内にプレイリストがある場合に、プログラムでシーン削除を実行すると表示されます（プレイリストでシーン削除をしてもメッセージは表示されません）。	99
プログラムのシーンは並べ替えできません。 プレイリストを作成してください。	シーンの並べ替えができるのはプレイリストのみです。 プレイリストを作成し、プレイリスト内でシーンの並べ替えを行なってください。	125
プロテクトされたシーンが含まれます。シーンを削除しますか？	本機以外の機器でソフトウェアプロテクトがされている可能性があります。その場合はソフトウェアプロテクトをかけた機器でソフトウェアプロテクトを解除してください。	—
プロテクトを解除しようとすると「ディスクエラー」が表示される。	本機付属のCD-ROM内のUDFドライバに付属するライトプロテクト設定したディスクは、本機単独ではプロテクト解除できません。プロテクトを解除するにはパソコンからライトプロテクト設定ツールをお使いください。	—
ライトプロテクトされています。 ライトプロテクトを解除してください。	ライトプロテクトされたディスクが入っています。 ディスクナビゲーションのメニューからライトプロテクトを解除してください。	130

注 1）・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。もし、映像を記録済みのディスクを入れた直後のディスク認識動作後にこのメッセージが表示されたときは、修復をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。この場合は、修復をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・カメラで記録後、カメラからディスクを取り出さないで、電源を切→入して、修復メッセージが出た場合は、修復を選択してください。
・他のディスクだと正常に記録再生できる場合で、結露もディスクの汚れでもないのに修復メッセージが出る場合は、修復を選択してください。

注 2）・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。この場合は、初期化をせず、電源を切り、乾いてから再び電源を入れてください。
・初期化するとディスクに記録されている内容は消去されます。

注 3）・ディスクに汚れが付着したときにもこのメッセージが出ることがあります。ディスクを取り出して、ディスクの汚れを柔らかい乾いた布でふき取ってからご使用ください。
・結露した場合にもこのメッセージが出ることがあります。乾いてからご使用ください。

故障かな…と思ったら

修理を依頼する前に、下記のことをお調べください。それでも動作に支障が出たときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては、P.187をご覧ください。

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
電源について	バッテリーパックが充電されない	ACアダプター／チャージャーにDCパワーコードが接続されていませんか？ 外してください。	33 37
	＊右の対処で解決しない場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。新しいバッテリーパックをご用意ください。	バッテリーパックが異常に熱くなっていませんか？ バッテリーパックを外して、しばらく放置し、温度が低くなってから充電してください。 周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が10～30℃の環境で行なってください。	33
		長期間使用しなかったバッテリーパックではありませんか？ 一度バッテリーパックを外し、取り付けなおしてください。	34
	バッテリーパックがすぐになくなる	温度が極端に低い場所で使用しませんでしたか？ 満充電されたバッテリーパック（DZ-BP14S/DZ-BP14SJ）は、通常40分～60分は使用できますが、寒冷地などではこれより早くなくなります。 低温の場所でご使用になるときは、バッテリーパックを多めにご用意ください。	35
		バッテリーパックの寿命が考えられます。 バッテリーパックは、長期間あるいは頻繁に使用すると、性能が劣化します。新しいバッテリーパックをお買い求めください。	36
	ACアダプター／チャージャーのCHARGEランプが点滅している	周囲の温度が低い、または高くなっていませんか？ 充電は気温が10～30℃の環境で行なってください。バッテリーパックが過剰に放電している可能性があります。そのまましばらく充電を続けると、規定の電圧まで充電され、充電ランプが点灯します。その後、正常に充電されます。	33
	電源を入れてもすぐに切れる	バッテリーパックは充電されていますか？ バッテリーパックを充電してください。	33
	電源を入れると、液晶モニターがついたり消えたりする		
	途中で電源が切れる	パワーセーブの設定が「オン」になっていませんか？ 「オン」に設定してあると、電源を入れたままの状態で撮影や再生をしないで5分以上経過すると、自動的に電源が切れてしまいます。電源スイッチを「電源／切」に合わせて、再度電源を入れてください。自動で電源を切らないようにするためには、パワーセーブの設定を「オフ」にしてください。	90

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	電源が切れない	バッテリーパックまたはACアダプター／チャージャーを抜いてください。その後、本機のシステムセットボタンを押し、再度電源を入れてください。	—
撮影・録画時	「録画」ボタンを押しても録画が始まらない	入力されている映像にコピーガードがかかっていませんか？ コピーガードがかかっている映像は、本機では録画できません。	62
	録画を開始しても、すぐ止まってしまう	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。それでも改善されない場合は、ディスクを交換してください。	73
		他のAV機器から直接本機の映像／音声入力端子に接続していますか？ AVセレクタなど多くの機器を経由して接続すると、映像信号がうまく伝わらない場合があります。その場合は、映像信号が経由する機器の数を減らすか、直接接続してください。	61
		テレビゲーム機やパソコンの映像を録画しようとしていませんか？ テレビゲーム機やパソコンの機種によっては、映像を本機で録画できない場合があります。	62
	液晶モニターが見にくい	液晶モニターの明るさは調節しましたか？ 撮影や録画を停止し、液晶モニターの明るさを調節してください。	89
		屋外で使用していますか？ ビューファインダーをお使いください。液晶モニターをお使いになる場合は、液晶モニターに直射日光が当たらないように、角度を調節してみてください。	43 44
	ピントが合わない	オートフォーカスが働きにくい被写体ではありませんか？ 手動でピントを合わせてください。	54
		「MF」と表示されていませんか？ マニュアルフォーカスになっています。手動でピントを合わせるか、マニュアルフォーカスを解除してください。	53
		ビューファインダーの場合は、視度調節が合っていますか？ 視度調節をしてください。	43
		上記以外の場合は、一度電源を切り、入れなおしてください。	42
再生時	ディスク認識が終了しない	ディスクが汚れていませんか？ 柔らかい乾いた布でふきとってください。	73
	再生ボタンを押しても再生できない	本機以外で記録した映像ではありませんか？ 本機以外で記録した映像は、本機で再生できないことがあります。	132
		本機以外で映像を編集しませんでしたか？ 本機以外で本機の映像を編集すると、本機では再生できないことがあります。	132

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
再生時	テレビに再生映像が出ない	テレビの入力切替は正しく設定されていますか？ テレビによってはビデオ入力が複数あるものがあります。接続した端子に対応する入力になっているか、確認してください。ビデオデッキに接続しているときは、ビデオデッキの入力切替を「外部入力」（LINE）にしてください。	70
		テレビと正しく接続されていますか？ 接続を確認してください。	69
	再生画面が一瞬途切れることがある	ディスクに傷や汚れ、指紋はありませんか？ ディスクをクリーニングしてください。	73
	再生映像の画質が悪い	アナログ方式のビデオ（VHSや8mm）からのAV入力映像を録画した映像ではありませんか？ 再生側にTBC回路を搭載したビデオデッキを用いると改善される場合があります。	—
	再生静止画像にぶれが多い	外部入力で「フレーム」を選択して撮影しませんでしたか？ 動画モード設定の「外部静止画入力」を「フィールド」に設定してください。	86
	音声が出ない	テレビの音量は正しく設定されていますか？ テレビの音量を調節してください。	70
	ディスクナビゲーションのサムネイルが表示されない	AV／S入出力端子に接続して録画したときに、映像が乱れていませんでしたか？ ノイズや乱れのない映像を録画してください。	—
パソコンと接続しているとき	パソコンにドライブアイコンが表示されない	カメラの電源は入っていますか？ 電源を確認してください。	42
		ドライバが正しく認識されていません。 パソコンの電源を入れ直してください。それでもドライブアイコンが表示されない場合は、デバイスマネージャの「ドライバ更新」でドライバの再インストールを行なってください。	143
		パソコンの電源を切ってからPC接続ケーブルを一度外してください。再度パソコンの電源を入れて、PC接続ケーブルで本機と接続してください。	153
		ＰＣ接続ケーブルが本機に根元まで挿入されていることをご確認ください。	142
		Windows®のデバイスマネージャに黄色い（！）マークが付いている項目がある場合には、P.163の手順に従い一度USBデバイスドライバのアンインストールを行ない、P.142の手順に従いUSBデバイスドライバのインストールを再度行なってください。	142 163
	Windows® 2000 ProfessionalにUSBドライバをインストール中に「例外0Aエラー」が発生する	Windows® 2000サービスパック3以降をインストールすることをおすすめします。	145

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	本機のパソコン再生で再生異常が発生する	USB 接続で発生する場合は、転送レートが十分で無い場合に発生します。USB2.0 に対応したUSB端子に接続することをおすすめします。	141
	パソコンのアプリケーションが正常に動作しない	一度パソコンと本機の電源を切り、再度試してください。	—
	DVD-R ディスクへの書き込み中にエラーが出る	本機が連続動作により、高温になっています。 一度パソコンと本機の接続を外し、本機からディスクを取り出したあと本機の電源を切ってください。しばらくしてから再度接続し、新しいディスクに書き込みを行なってください。	153
	映像を転送している間に停止してしまう	お使いのパソコンの別の USB 端子に接続してください。デスクトップ型パソコンの場合、リアパネルの USB 端子をおすすめします。USB2.0 の拡張カードをお使いの場合は、各USB2.0のメーカーが提供する、最新版のドライバをインストールされることをおすすめします。	153
	添付のソフトウェアをインストールしたら、パソコンに内蔵しているDVD-RAM/R/RWドライブが使えなくなった	お使いのパソコンのDVD-RAM/R/RW関連ソフトウェアをバージョンアップするか、UDFドライバをアンインストールすると解決することがあります。ただし、Windows® 98 Second Edition / Me / 2000 Professional の場合は、UDF ドライバをアンインストールすると、本機の DVD-RAM に記録された JPEG 静止画をパソコンで読み出せなくなります。	—
	DVD-MovieAlbumSE で DVD-R ディスクが再生できない	DVD-MovieAlbumSEはDVD-Rディスクの再生、取り込みに対応しておりません。パソコンでの DVD-R 再生には、市販の DVD ビデオ再生ソフトウェアをご利用ください。	150
	DVD-MovieAlbumSE を起動するとエラーが表示される。またはパソコンが応答しなくなる	お使いのパソコンのディスプレイアダプタ（ビデオカード）が Directx8.1 に対応しているかご確認ください。	141
	DVD-MovieAlbum コピーツールでパソコンのハードディスクに取り込んだ映像が編集できない	DVD-MovieAlbumSE はパソコンのハードディスクに保存された DVD-VR データを編集することはできません。そのデータを別の DVD-RAM ディスクにコピーしてから編集してください。	155
	パソコンのアプリケーションから動画が認識されない	本機の電源スイッチが「 動画」または「 静止画」になっていることをご確認ください。	143
	ＰＣ接続中にディスク取出しボタンが効かない	ＰＣ接続中のディスクの取り出しは、エクスプローラからDVDビデオカメラのドライブを右クリックして「取り出し」を実行してください。	154

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
パソコンと接続しているとき	パソコンのエクスプローラやアプリからDVDビデオカメラのDVD-RAMドライブが開けない エラーが表示される ディスクの取り出しができない	DVD-MovieAlbumSEが起動している場合は、終了してください。	—
	パソコンでDVD-RAM内のファイルのタイムスタンプを見ると、撮影時刻とずれている	本機のファイルシステムはGMT(グリニッジ標準時)で動作しており、時差情報は未設定となっています。2003年1月現在のWindows®では、エクスプローラから見えるファイルのタイムスタンプは撮影時刻と差があるように見えます。なお、再生画面上の日付表示は実際の撮影時刻で表示されます。	—
	DVD-MovieAlbum起動時に「ドライブX:のディスクはDVD-MovieAlbumでは使用できません。」と表示される	DVD-RAM以外のディスクがドライブにセットされている。DVD-MovieAlbumSEはDVD-RAM以外のメディアにはお使いになれません。 そのダイアログボックスの「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAMディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	160
	DVD-MovieAlbumを起動しても、記録されているはずの映像が表示されない	DVD-MovieAlbumSE画面の右上にある「環境設定」ボタンをクリックして、「デバイス設定」タブをクリックして、「ドライブ選択」欄で編集するDVD-RAMディスクの入ったドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。	160
	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行なうと、読み込みが途中で止まってしまう	「簡易(高速)切り出し」を選択していると読み込みが途中で止まることがありますので選択しないでください。	161
	DVD-MovieAlbumSEで「切り出し」を行なうと、読み込みに時間がかかる	切り出す範囲に静止画が含まれていると、再エンコードしながら読み込まれるため、時間がかかる場合があります。 「マーカー毎に分割」を選択していないと、再エンコードしながら読み込まれることがあるため、時間がかかる場合があります。	161
	「ハードウェアの取り外し」がエラーになってしまう	Windows®を一旦終了してから、取り外してください。 Windows® 2000 Professionalをお使いの場合は、Windows® 2000サービスパック3以降をインストールすると解決する場合があります。	159
	USBドライバインストール中に「USBNTMAP.SYSが見つかりません」と表示される	USBドライバインストール時に指定するフォルダがお使いのWindows®用のものとは違うフォルダを指定していますので、正しいフォルダを指定してください。	—

	こんなときには	対処のしかた	参照ページ
	USB2.0カードを使っているのに、USB2.0 HS(高速)モードで接続されない	USB2.0カードに付属しているドライバをインストールされたかご確認ください。USB2.0カードをHS(高速)モードで動かすためには、USB2.0カードの製造元が提供するドライバが必要です。	—
その他	電源が入らない、ボタンを押しても操作を受け付けない	システムリセットを行なってください。	186
		カメラに強い衝撃を与えませんでしたか? 本機が壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	日付・時刻が合わなくなった	使用しない期間が長期に及びましたか? 内蔵電池がなくなっている可能性がありますので、充電してください。	46
	シーンの削除ができない	削除したいシーンにカーソルが合っていますか? 黄色のカーソルで任意のシーンを選んでも選択済のシーン(赤ワクのあるシーン)があるとそのシーンが削除されてしまいます。 サムネイル画面でカーソルとバーグラフの色を確認してください。	96 99
	ディスクが取り出せない	電源を切る前にバッテリーパックやACアダプター/チャージャーを外しませんでしたか? バッテリーパックまたはACアダプター/チャージャーをもう一度接続し、電源を入/切してから取り出してください。	37 40
	リモコンで操作できない	リモコンをカメラの受信部に向けていますか? カメラの受信部に向けて操作してください。	32
		カメラの受信部に直射日光や蛍光灯の強い光が直接当たっていませんか? 受信部に強い光が当たっていると、操作できません。 カメラの置き場所や角度を調整してください。	32
		リモコンに電池は入っていますか? 電池の向きも確認してください。電池がなくなっている可能性もあります。電池を交換してみてください。	31
		カメラの電源は入っていますか? カメラの電源を入れてください。	42
	ふたが閉まらない	ディスクが正しく挿入されていますか? ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	38
		誤った向きで挿入していませんか? ディスクを取り出して、もう一度挿入してみてください。	38
	周期的に動作音がする	ディスクを周期的に動作させているために出る音です。故障ではありません。	—
	手に振動を感じる、本機から小さな音がする	ディスクドライブの動作により発生しています。故障ではありません。	—

システムリセット

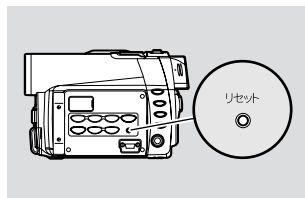
本機が正常に動作しないときは、システムリセットを行なうと、回復することがあります。システムリセットをすると、すべての設定値が工場出荷時の状態に戻り、日付もリセットされます。使用開始前に日付を設定しなおしてください。

1 電源を切る

電源スイッチを「電源／切」に合わせてください。

バッテリーパック・ＡＣ アダプター／チャージャーも外します。

2 先の細いペンなどでリセットボタンを数秒間押す

システムがリセットされます。

- リセットボタンは強く押さないでください。

●設定項目一覧

	設定項目	初期設定	設定方法
カメラ機能設定	プログラム AE	オート	P.78
	ホワイトバランス	オート	P.79
	手振れ補正	オン	P.81
	デジタルズーム	40x	P.82
	マイクフィルター	オフ	P.83
記録機能設定	動画画質	FINE	P.84
	静止画画質	FINE	P.85
	入力切替	カメラ	P.85
	静止画外部入力	フィールド	P.86
	セルフタイマー	オフ	P.87
	画面表示出力	オン	P.88
日付機能設定	表示モード	年 / 月 / 日	P.46
	日付設定	2003/01/01 AM0:00	P.45
液晶モニター設定	明るさ	－ [スライダー中央] ＋	P.89
	色のこさ	－ [スライダー中央] ＋	P.89
初期設定	操作音	オン	P.89
	パワーセーブ	オフ	P.89
	録画ランプ	オン	P.91
	言語切替	日本語	P.92
	デモモード	オート	P.170

※ 使用するディスクやカードによっては表示されない項目もあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）	保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 保証期間は、お買い上げ日から 1 年です。
補修用性能部品の保有期間	当社はこの DVD ビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
ご不明な点や修理に関するご相談は	修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」（☞ P.189）の窓口にお問い合わせください。
転居されるときは	ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
修理を依頼されるときは（持込修理）	本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（☞ P.180～185）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。 保証期間中は保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。 なお、DVD ビデオカメラ本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（記録内容の喪失など）の責については、ご容赦ください。 アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。 品名：DVD ビデオカメラ 形名：DZ-M5000V5 ／ DZ-M7000V5 故障の状況：（できるだけ具体的に）

<table>
<tr><td rowspan="4">修理を依頼されるときは（持込修理）</td><td colspan="2">修理料金のしくみ</td></tr>
<tr><td>技術料</td><td>故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育料、測定器等設備費、一般管理費が含まれています。</td></tr>
<tr><td>部品代</td><td>修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</td></tr>
<tr><td>出張費</td><td>商品のある場所への技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。</td></tr>
</table>

長年ご使用の本機の点検

本機は、信号をディスクに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。性能を維持するためには、およそ 500 時間を目安に点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

DVD カム商品情報
http://dvd.hitachi.co.jp/

DVD カムパソコンソフト
サポート情報
http://support.hitachi.ca/dvdcam-pc/

パソコンとの接続に関するお問い合わせは
0120-147-226
日立マルチメディア・インフォメーションセンター
受付時間
平日 9:00 ～ 12:00,13:00 ～ 17:00
弊社指定休日は休ませていただきます。

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区の お客様相談センター へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌 2 条 4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町 1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野 2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町 55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町 1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町 1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町 4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町 7-18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

MyDVD についてのお問い合わせは（国内）
ソニック DVD サポートセンター

URL: http://www.sonicjapan.co.jp/support/
E メール: dvdsupport@sonicjapan.co.jp
電話: 03-5232-5065
受付時間: 土日、祝祭日、年末・年始および特別行事日を除く
10:00 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:00

ユーザー登録はインターネット・ホームページで受け付けております。
http://www.sonicjapan.co.jp/register/register.html

主な仕様

CCD		DZ-M5000V5 → 1/4 型インターレース DZ-M7000V5 → 1/3.8 型インターレース 総画素数 DZ-M5000V5 → 約 68 万画素 DZ-M7000V5 → 約 102 万画素 有効画素数 DZ-M5000V5 → 動　画：約 34 万画素 静止画：約 34 万画素 DZ-M7000V5 → 動　画：約 40 万画素 静止画：約 96 万画素
レンズ		DZ-M5000V5→F1.8-2.5　f=3.15-31.5mm DZ-M7000V5→F1.8-2.4　f=3.8-38mm フィルター径 DZ-M5000V5 → 30.5mm DZ-M7000V5 → 37mm
フォーカス		オートフォーカス／マニュアルフォーカス
ズーム		光学 10 倍／デジタル併用 240 倍 （静止画時は 40 倍）
必要最低照度		12 ルクス（ローライトモード時：3 ルクス）
ビューファインダー		0.44 型カラー TFT（約 11 万画素）
液晶モニター		2.5 型カラー TFT（約 12 万画素）
手ぶれ補正方式		電子式
シャッター速度		1/60 ～ 1/4000（動画）
セルフタイマー撮影		あり　（静止画モードのみ）
外部マイク端子		ステレオミニジャックφ 3.5mm プラグインパワータイプのマイクはご使用できません。
撮影モード		動画（音声つき）
		静止画（DVD-RAM ディスク／ SD メモリーカード／マルチメディアカード）
最大記録時間（片面あたり）	DVD-RAM ディスク	(XTRA) 約 18 分／(FINE) 約 30 分／ (STD) 約 60 分
	DVD-R ディスク	(FINE) 約 30 分／(STD) 約 60 分／ (LPCM) 約 30 分
最大記録枚数	DVD-RAM ディスク（片面あたり）	静止画　999 枚 ただし動画と混在の場合、枚数が減少します。
	カード（32MB カード使用の場合）	DZ-M5000V5 →約 220 枚（FINE モード時） DZ-M7000V5 →約 50 枚（FINE モード時） ただし画質やカードの種類により異なります（☞ P.28）。

<table>
<tr><td rowspan="3">記録方式</td><td>DVD-RAM
ディスク</td><td>動　画：DVD ビデオレコーディング規格準拠
音　声：MPEG オーディオレイヤー 2
静止画：JPEG
（DZ-M5000V5 →640 × 480 画素、
DZ-M7000V5 → 1280 × 960 画素）
および DVD ビデオレコーディング規格準拠
（704 × 480 画素）の同時記録</td></tr>
<tr><td>DVD-R
ディスク</td><td>動　画：DVD ビデオ規格
音　声：MPEG オーディオレイヤー 2 または
リニア PCM ＊1</td></tr>
<tr><td>カード</td><td>静止画：JPEG
（DZ-M5000V5 →640 × 480 画素、
DZ-M7000V5 → 1280 × 960 画素）</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声再生方式</td><td>MPEG オーディオレイヤー 2、リニア PCM、
ドルビー AC3</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録メディア</td><td>8cmDVD-RAM（DVD-RAM Ver. 2.1 Book2.1 準拠）
8cmDVD-R (DVD-R for General Ver. 2.0 準拠）
SD メモリーカード、マルチメディアカード</td></tr>
<tr><td colspan="2">端子</td><td>映像音声入出力× 1、外部マイク入力× 1、PC 接続端子（パソコンの USB 端子へ接続）× 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリーパックシステム</td><td>リチウムイオン</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>液晶モニター切 / 録画時
DZ-M5000V5 →約 4.7W（FINE）
DZ-M7000V5 →約 5.0W（FINE）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（幅×高×奥行）</td><td>DZ-M5000V5→約57×89×134mm（突起物含まず）
DZ-M7000V5→約60×93×148mm（突起物含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">許容動作温度（湿度）</td><td>0 ～ 40℃（80％以下）
ただしパソコンとの接続時は、0 ～ 30℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体質量</td><td>DZ-M5000V5→約480g（バッテリーパック、ディスク等含まず）
DZ-M7000V5→約505g（バッテリーパック、ディスク等含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">撮影時総質量</td><td>DZ-M5000V5→約565g（バッテリーパックDZ-BP14S使用時）
DZ-M7000V5→約590g（バッテリーパックDZ-BP14S使用時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">付属品</td><td>AC アダプター／チャージャー、バッテリーパック、AV ／ S 入出力ケーブル、リモコン、リモコン用リチウム電池、レンズキャップ、レンズキャップひも、ショルダーストラップ、電源コード、DC パワーコード、PC 接続ケーブル、CD-ROM ディスク、8cm DVD-R ディスク（丸型ホルダー付き）</td></tr>
</table>

＊1：MPEG オーディオレイヤー 2 方式は、DVD ビデオ規格のオプション規格です。ファイナライズ済の DVD-R ディスクを DVD プレーヤーでご覧になるとき、ご使用になる DVD プレーヤーが MPEG オーディオレイヤー 2 に対応していない場合は、LPCM モードで録画してください。

索引

索引の見かた
見出し言語と同一のものは「〜」で省略してあります。

英数字

ア行

カ行

サ行

索引

索引

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

同梱の CD-ROM の開封前に必ずお読みください

本契約は、本製品に同梱されているCD-ROMのパッケージの開封によってご同意いただいたものとさせていただきます。
本契約にご同意いただけない場合には、ただちに未開封の記録媒体のパッケージと同封物（印刷物、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い上げの販売店にご返却いただくか、記録媒体のパッケージのみをお買い上げの販売店にご返却ください。
未使用の製品についての代金の返還手続きに関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。ただし記録媒体のパッケージのみご返却の場合は、代金の返還には応じかねます。

この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。

使用許諾契約書

第 1 条　使用権の許諾

日立製作所は、お客様に対し、本契約書とともに入手した下記製品（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。

（a）お客様は、本ソフトウェアを特定の一装置においてのみ使用することができます。ただし、特定の一装置が故障等で使用できない場合、本ソフトウェアを一時的に他の装置で使用することができます。

（b）本ソフトウェアには、独立した機能をコンピュータ上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、全てのコンポーネントをもって1つの製品として扱わなければなりません。いかなる場合も各コンポーネントを同時に複数のコンピュータ上で使用することはできません。

第 2 条　著作権

本ソフトウェア及び添付マニュアル等の著作権は、それぞれ下記に示す各社が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法及び国際条約により保護されています。

ソフトウェア名	著作権保有者
DVDCAM 用 USB デバイスドライバ	株式会社　日立製作所
UDF ドライバ（DVD-RAM ドライバ）	松下電器産業株式会社
DVD-MovieAlbumSE	松下電器産業株式会社
MyDVD	Sonic Solutions 社

第 3 条　その他の権利及び制限

（a）お客様は、バックアップまたは保管目的での複製を除き、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する全ての印刷物を複製できません。

（b）お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させてはなりません。

（c）お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。

（d）お客様は、本記録媒体上にあるいかなるファイルを商業的に複製または再配布することはできません。

第 4 条　品質保証

いかなる場合においても、日立製作所、松下電器産業株式会社、Sonic Solutions 社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第 5 条　契約の解除

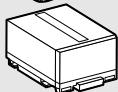
お客様が本契約に違反した場合、日立製作所、松下電器産業株式会社、Sonic Solutions 社は、本契約を解除することができるものとします。その場合、お客様は、本ソフトウェアの複製物及びその構成部分を全て破棄しなければなりません。

第 6 条　優先される使用許諾契約書

ソフトウェアによっては、インストール時に使用許諾契約書が表示されるものがあります（以下、その契約書をオンライン使用許諾契約書と呼びます）。
オンライン使用許諾契約書とこのページの使用許諾契約書に矛盾がある場合は、オンライン使用許諾契約書が優先されるものとします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的とされていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お出かけ前に機材のチェック

試し撮りをしてからお出かけください。

十分充電されていますか？
予備をお持ちの方は、撮影時間に応じた本数をお持ちください。
1個の使用時間の目安：40分〜1時間（DZ-BP14S/DZ-BP14SJ）

空き容量は十分ですか？
- DVD-RAMディスク（片面あたり）
  記録時間：約30分（FINEモード）
  記録枚数：999枚（静止画のみ）
- DVD-Rディスク
  記録時間：約30分（FINEモード）
- カード（32MB）
  記録枚数：DZ-M5000V5→約220枚（FINEモード）
  DZ-M7000V5→約55枚（FINEモード）

※記録時間や枚数は目安です。
記録画質や被写体の状況などにより変わります（☞P.27、28）。

あると便利

- ACアダプター／チャージャー
- 電源コード／DCパワーコード

コンセントから電源をとったり、バッテリー充電ができます。

愛情点検

長年ご利用のDVDビデオカメラの点検をぜひ！ DVDビデオカメラの補修用性能部品の保有期間は、8年です。

このようなことはありませんか？
- 電源コード・プラグが異様に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客さまメモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	電話　（　　）　　－
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製品本体と保証書の製品番号が一致しているかご確認ください。

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

株式会社 日立製作所

〒312-8505　茨城県ひたちなか市稲田1410番地

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

Printed in Japan OM-M (I)